

マヤ／乗客5
サツキ／乗客6
キョウコ／乗客4／輸送指令員
カナ／乗客1／車掌
シヨウコ／乗客2／運転手
アミ／乗客3／輸送指令員

その鉄橋の上にある駐輪場には
一〇七台の自転車が持ち主の帰りを待っている。

1 その鉄橋の上で

闇の中を「ムーン・リバー」のハミングが風に乗って流れてくる。闇に目がなれてくると、自転車の鍵を開けようとするサツキの姿が現れる。手にした鍵には鈴。やや離れたところにはハミングを続けているマヤがいる。無造作に置かれた自転車の腰掛け携帯電話を眺めている。自転車の籠にはテナー・サックスが入ったケース。

サツキが持つ鍵の鈴が強く鳴り出すとハミングが途切れて。

サツキ ……ちゅっ、硬った。めっさ硬。これ鋼鉄ちゃう？（と、自転車をがっつんと蹴る）

マヤ てか、サツキ。…：それ全然ウチのんちゃうし。

サツキ え。でもマヤのチャリ黒いで。

マヤ （近づき）黒やけどちやうし。

サツキ 座るとこビリビリやん。

マヤ ビリビリにしてもちやうし。

サツキ ええやん、こんなボロ誰も乗らへんわ。

マヤ パクってどないする。泥棒か。

サツキ もー、置いたん忘れたん自分やん。

マヤ (自転車のカギ穴を確かめ) 無理矢理いじくりよって、鍵穴つぶれるで。

サツキ もうなんやなんや解らんようになってきてもした。どれも同じに見えてきた。

マヤ なんでや。どれも違うでどう見ても。

サツキ ……いいや。どのチャリも同じに見えるという印象が現れ見えるのや。

マヤ まどろっこしい…。

サツキ ま、付き合え。これらの佇まいから醸し出されるムードはなあ…。

マヤ 醸し出るムード？

サツキ そや、ひっそりと立ち尽くすこれらの姿は言うてみれば健気やないか。たとえボロでも内には美しさを秘めておってやな、これは一体何かしらと例をあげると…。

マヤ あげるとすると？

サツキ うゝむ…。(目を閉じ思案にふける)

マヤ なんや、思いつかんのかい。

サツキ あ、待って。印象が去っていく。

マヤ アホらし。

サツキ 言うな。

マヤ やっぱ見つかからへんて。

サツキ まだわからんて。

マヤ てえか、ウチの子、よう持っでかれるタイプやったし。

サツキ 何、タイプて？

マヤ 鍵、前に一カ所だけやろ。名前もハズいし書いてへん。型はママチャリの典型でおまけにめっさボロやんか。園田の競馬で全部すったオツサンがついて乗って帰りそう。

サツキ つまり、自転車はどうでもエエ子が持っでかれやすいと…。

マヤ いうもんや。

サツキ どうでもええブスはコンパのお持ち帰りの園田のオツサンがついて。

マヤ どんな受け止め方しとん。

サツキ ……全く。持ち主に似てアカンな。

マヤ なんでえ、ウチはボロちやうで。

サツキ 持ち物ってキャラ出る。

マヤ チャリは違うで、肌身離さん携帯とかと違って。(携帯電話を取り出す。派手なシールとストラップ) どうせパクられたり撤去されたりするやん。愛情注ぐ分だけへこむ。

サツキ シビアやなあ、チャリはじつと持ち主待ってるのに。

マヤ 待ってへんわ。岸壁の母か。サツキも昔パクられてウルキてたやん。

サツキ 泣いてへん。怒っててん。

マヤ ホンマにい？

サツキ ……つか、あ。

マヤ どうせチャリは使い捨てや…。

サツキ チャリはハチ公やん！

マヤ ハチい？

サツキ チャリの印象、忠犬ハチ公。

マヤ それ厳しくない？ ここ渋谷ちやうし。駅前ってだけやん。

サツキ けど待ってる犬つぽくない？

マヤ 待ってる犬？

サツキ チャリの前を、クイってすると。(ハンドルを傾ける) ほら、犬が「くうーん」て。

マヤ まあ。……ぽいかなあ「犬くうーん」

サツキ な、ぽいぽい。

二人「犬くうーん」と連呼し、手当たり次第に自転車のハンドルを傾け、盛り上がる。

マヤ・サツキ おーほほ。「犬くうーん」

サツキ ……アホらし。

マヤ ノッてあげたのになんて。

サツキ こない駅前にはち公いたら不気味やん。

マヤ ま。どんだけおるって話しやけど…。

サツキ けど全部、岸壁の母よりマシか。

マヤ マシてなんや。母は待つやろ。

サツキ てえか、早よ探し出そ。一台きりのマヤのハチ公。

マヤ エエよ、もう帰りいさ…。

サツキ ほなどないすんの。

マヤ そやなあ。もうちよつとしたら……。
サツキ ちよつとちよつとて何そないに頑ななん。おっちゃん一人で心配しとったで。

マヤ ……なんでえ。会うたんや。

サツキ あ。ま……。先輩らと来てくれて。

マヤ 言うてえや、重い重。

サツキ な。二ケツして帰ろ。(自転車にまたがり) 帰りの坂道ガンガン登るでえ……。

マヤ てかずつと下りやん。

サツキ 上りもあるやん地獄坂……。

マヤ (サツキの指先を見て) てか、サツキ。

となつとる。 指、エライこ

サツキ や。…しくった。(指を舐める)

マヤ ガチャガチャ鍵穴いじくるから。

サツキ ちやう、これは元々の。

マヤ あんな、無茶しても嬉しくないし。

サツキ してへんよ。

マヤ 全然嬉しくないから。マジやめて。

サツキ ホンマやって。

マヤ 悪いけどガンガン行くそのハッスルも負担や。…ウチほつといてほしい。面倒なことホンマ多いやんか……。

サツキ そら先輩らやろ。好きに言わしとき。シカトでエエんや。

マヤ 人ごとや思て。

サツキ しつこくメール来たりするんやろ。ウチ相談乗るで。(携帯電話を出し) なんなら見せ合いっこしよか。せえので。

マヤ 見せるかいな。

サツキ 親しき仲にもナンタラやで。

マヤ 意味わかって言うてる?

サツキ わかってるわ。ウチがメール送っても返事遅いし文字少ない。愛情と文字数は比例するんやで。

マヤ みんなには返してるよ……。

サツキ じゃん。(サツクスのカースを持ち)

マヤ ……ほんま、マイペースやなあ。

サツキ 先週、我が部に新しいサツクスの入荷がありました。

マヤ (サツクスを受け取り) 何でもサラピンやったらエエっち

ゆうもんちやうけど。

サツキ な。教えてよ。中途になつてんの。

マヤ 中途って？

サツキ やっぱ口ばっか、アホでも吹けるて。

マヤ 「ムーン・リバー」やろ。忘れてへんよ。

サツキ で、顔出そう学校。ウチも出るから。

マヤ サックスのパート、そんなにエエか？

サツキ うん。まだ諦めへん。

マヤ そやな。……電車が走り出したらな。

サツキ なんで電車がきっかけなん？ わざわざ電車で通うつもり？

マヤ ……。(ふっと吹いて返事をする)

サツキ そんな時言うてな。黙って行かんといてな。

マヤ ……。(ふっと吹いて返事をする)

サツキ その前に、何としてもチャリやな。てか、どこやったっけ、チャリの鍵。

マヤ サツキ。(サックスを確かめ)これ、なんや変な音しよらへん？

マヤ、ぷーっと電車の警笛のように長く吹く。

二人を取り巻く闇の彼方から「ガタン、ガタン」と電車の気配がする。

サツキ (孤独に呟くように)それは、サラピンのサックスという印象だけが、ちやう音に聞こえる理由やなくて……。

マヤ きつとこのサックスが如何なる理由で新しかったかというイロイロが、ウチらには……。

サツキ あまりに空々しく……。

マヤ 冷たい音色に聞こえるのやった。

サツキ (鈴がチリンと鳴り)あ、あつた鍵。

マヤ ……な。聞こえるか？

サツキ うん。聞こえるわ。

二人は電車の光に包まれる。通り過ぎる窓明かりから様々な声が漏れ聞こえる。

乗客の声 ガタン、ガタン……（繰り返す）
乗客1 ……普通電車が宝塚を出ると。
乗客2 快速電車は時間の調整。
乗客1 乗ったら尼崎まで寝る。
乗客3 この電車、大阪行きますか？
乗客4 行くで。
乗客2 U S J 着きますか？
乗客1 アカン環状線乗らな。
乗客3 九時一〇分、川西池田駅で待つ……。
乗客2 見て、めっさ空、青い。
マヤ ステンレスの四角い箱。
サツキ ブルーの縞の憎い奴。
乗客たち あれ、あれ、あれ、あれ。
乗客2 扉開かんで。
乗客たち ホームがない……。
乗客2 線路脇に生えてる草。
乗客1 えげつない停車ミス。
乗客4 女性専用車両は。
乗客3 お詫びはあらへんの。
乗客2 詫びろ。詫・び・ろっ（繰り返す）
乗客4 なあ。ホンマどこ行くの。
乗客3 カタカタカタという音……。
乗客1 ガタガタガタ……。

ガタガタガタと一〇七台の自転車が震えだす。

乗客2 名神高速を越えると。
乗客1 あっと思つて前を見た……。

二人の近くを試運転の電車が金属を擦りながら通過する。
静寂が訪れると、蓋の取れた自転車のベルがジューコ、ジュー
コと音を立てていた。

シーン 2 キヨウコ

キヨウコ (ベルを止め) もう動いてるんや。

マヤ あ。…：…いてはったんですか。

キヨウコ ごめん。びつくりした？

マヤ いやそんな、すみません。

キヨウコ (再びジーコと鳴らし) サツキ、もう帰らな。…：…エエ時間やで。

サツキ キヨウコさん…：…あれ幽霊ですか。

キヨウコ え。幽霊？

サツキ 今、走った。

キヨウコ ああ…：…。そやな、誰も乗ってへんかったなあ。…：…電車の幽霊ちやう？

マヤ 電車の幽霊。

キヨウコ そや、知らんかったな。

サツキ こうしちやおれん。(自転車を探す)

キヨウコ ここキツないか？ 金網ごしにレール見えてる。(耳を澄まし) しんとしてるけど。ずっと唸り声あげてる。

サツキ けど、もう電車走りよるでしよ。ここの自転車もアホほど増えるし早よ見つけんと。

キヨウコ そや、壊れたサックスの交渉してくれたんサツキなんやて？

サツキ イロイロ面倒で、切符ぐらいしか証明するもんなくつて。

キヨウコ なんや。疑われる筋合いないで。

サツキ 五七〇円…：…。

キヨウコ 五七〇円て？

サツキ 返ってきた切符代。ホンマ普通に、何でもなかったみたい。いに親に返されました。けど、それ聞いてウチは冷静になれました。

キヨウコ ほなサックスは、お家の人が？

サツキ オトン、めっさ怒って。

キヨウコ サツキを思ってるやろ。

サツキ オカンも火いつくつと、なんでかオトンしばきよりました。

キヨウコ どないなつとん。

サツキ で、二人、喧嘩した勢いキープで、もつれながら駅に怒

鳴り込んだみたいで。

キヨウコ もう落ち着きはった？

サツキ ウチ、親の間で不穏な空気が漂ったらまずウチが先にキレてみよかなって。……したら場の空気は相殺されて収まるし。

キヨウコ もっとええ手段あるやろ。

サツキ そやかてオカン、泣き出しよるんです。「震災の時みたいやあ」て。

キヨウコ それずっと前のことやん。

サツキ ウチらのとこ、ほとんど全壊やったでしょ。あん時にもずっと喧嘩ばかりやって。

キヨウコ そうなん。

サツキ 地震のこと全然口に出さんオカンが。……ウチ、これはアカンわかって、こんな哀れ、ないわかって……。

キヨウコ まず、サツキが良うなってかんと。

サツキ ウチは平気です……。

キヨウコ (指の傷を指し) その傷。なんなん。

サツキ これは記念碑的なもんで、とても大切。

キヨウコ 治るもん何しとん。

サツキ ウチの痛みがわかります？

キヨウコ ……。

サツキ エエんですよ。ホンマ (両手で頬をつねってみせ) 痛みがないんは平気なんれす。

キヨウコ ふざけてんの？

サツキ (つねったまま) 何やつても痛ないひ。

キヨウコ お薬とかもろてるやろ。

サツキ 飲んで治さん主義やし……。

キヨウコ 風邪かアホ。

サツキ 医者って顔みせる度、薬増やすし、なんか怪しい。

キヨウコ 体が受け付けにくいから、少しずつ増やしてるんや。

サツキ ……キヨウコさんも、なんか怪しい。

キヨウコ ……大人やもん。

サツキ けど、痛み感じんのは選ばれた人に与えられた特別な能力やて今ではしつくり来てるんです。

キヨウコ そんな前向きないで。

サツキ 腹立たつ。……でしょ。けど (頬を引っ張り) こないす

ると、あれからずいっと恐ろしい夢から醒めてへんような気がして。

マヤ サツキ、笑えんて……。

サツキ ぞつとして。怒りが治まっていくんよ。

マヤ ……な。不細工になる。顔やめよ。

キョウコ 一人やないんやからメールしてよ。

マヤ ……。

キョウコ 後遺症って、まず通り過ぎる電車みて馴れてくんが一番エエンやて。サツキが平気やったら今度、ホーム降りてみよ。改札くぐって、辛なってきたら事情言うて。

サツキ 誰の入れ知恵。

キョウコ こつからでエエやん。鉄橋の上からレール眺めよ。何が悪いんか解るかもしれん。

サツキ キョウコさんは何がアカン思てるの。

キョウコ それは心の問題やから……。

サツキ そつちやのうて。

キョウコ ……まだイロイロ言われてるよ。けどウチはウチなりに原因探そう思て。

サツキ 原因？

キョウコ 何に腹立つんやろて。……実際、電車乗らなアカンくなるやん。言うてられんし。……駅に来るんやったらメールしいや。一人でパニックたらオシマイや。

サツキ 平気です。線路を囲った鉄の柵は、ウチには固くて高すぎるし、変な気おきても……ま、大丈夫やと思います。

キョウコ、自分の頬をつねってみる。

上空をヘリコプターが音を出し通過する。

シーン3 放課後、学校の駐輪場で

カナ (ベルを鳴らし) キョウコ……。おい。キョウコで。
キョウコ あ……。ごめん、ごめん。

シヨウコ 何ぼうつとしとん、呼び出しといて。
キョウコ ……また飛んでるなあて。

カナ 駐屯地から飛んだんちやう？

シヨウコ 自衛隊ちやうで、報道や。ほら、それっぽいマーク。
カナ え。……あ、よく見えるなあ。

シヨウコ あっち方面やし。

カナ ……やんなあ、現場か。

シヨウコ ……せや。……マスコミでした。

キョウコ もう何も残ってへんのに。

カナ (自転車を眺め) てか、果てしないな。

シヨウコ うん、めっさあるなあ。

カナ 今、電車通の子皆チャリで来てるし。

キョウコ 部活終わるん待ってみる？ したら大分減るやん……。…。

カナ え。それって何時になる。

シヨウコ 七時には全部終わるんちやう。

カナ 悪いけど抜けてエエ？

シヨウコ なん、のつけから気い抜けるなあ。

キョウコ カナ、用ある言うてたもんなあ。

シヨウコ ああ、お医者さん？

カナ 川西のマクド、チャリで結構かかるし。

シヨウコ なんやバイトかいな。

キョウコ 尼崎から川西間、代行運転してるんやで。

カナ バスやろ。どうもなあ。

シヨウコ それわかる。鉄の箱に揺られる感じ。

カナ チャリの方がマシ。体鈍ってるし。

シヨウコ 運転再開されるまで休んだら？ ウチしんどいから何
もしてへん。

キョウコ てか、なんで川西まで。

シヨウコ 彼氏やろ？

キョウコ しし。

カナ ……アカンねん。携帯代自分で払てるし。

キヨウコ あんた律儀やなあ。

カナ 常識や。いくらつこてる思う？ 今日日の携帯事情。

シヨウコ ウチは請求書みせられて小遣いから天引きやけど。五千円いかんで。

カナ ……キヨウコは？

キヨウコ ウチもそんなもん。

シヨウコ で、あんたは。

カナ ……月三万。

キヨウコ どんな事情。

シヨウコ 別れ話で三万越えはきつついな。

カナ 励ませよ。

シヨウコ ……働け。

カナ バイトやて！

キヨウコ ま、別れたら安なるわ。

カナ ちゃんと励ませ。

シヨウコ てえか、あんた無駄にメール多いで。わかってんの。

カナ 黙って受け取れ。

キヨウコ ……ほんまいらんねんなあ。

シヨウコ そら言いすぎ。

キヨウコ いやメール全般のこと。ウチ待つのも待たされるのも嫌。何もできんくならへん。

シヨウコ キヨウコ生真面目やから。

キヨウコ 終わらせ方もわからんし。

カナ いっそ持たなんたら。

キヨウコ そらそれで生きづらい…。

シヨウコ ほんま空気読めん奴おるよなあ。もう眠いから寝るしって打っても、風呂入って寝るしって打っても、菓子食うて寝るしって打っても延々と返事してくる奴。……なにあれ、あんたやった？

カナ ちゃうわ。てか、バイト行くし。

シヨウコ ほな時間みて帰りいさ。……なあ。

キヨウコ うん。ゴメンな来てくれたのに。

カナ エエよ。おれる時間まで探すから。(と、自転車を探し始める)

キヨウコ (つられて動き出し) けどさ、名前書いてへんの多な

い？

シヨウコ 個人情報保護の保護？

キヨウコ 意味ないし。

シヨウコ けど置いたとしたら、どこなんや。あの子、自転車通
やなかったやろ。

カナ 体力つけるために乗ってたしなあ。

シヨウコ たかが吹奏楽。されど吹奏楽か。

キヨウコ あれ……シヨウコ。アミは。

シヨウコ 誰かおらん思ってたら……奴か。

カナ な。このチャリ見覚えはない？

キヨウコ ……え。

カナ 真っ黒。サドルもボロいし。

シヨウコ それ？

カナ ほら。

キヨウコ ……これ？（と、鍵を差してみる）

シヨウコ 座るところカビってへん？

キヨウコ ちよ、そんな触らんととき……あ。

シヨウコ バリ臭い……ほら、バリ臭さ。

キヨウコ やめえて、手え洗ろてきいさ。

カナ え。どんな。（嗅ぐ）

シヨウコ・カナ ははは。バリ臭さ。

キヨウコ なに笑てんの。（鍵は開かない）……いくらボロでも
ここまでやないて。

シヨウコ まきぎらわし……ゴミ捨てたれ。

キヨウコ ちよ、シヨウコ。

シヨウコ （手を嗅ぎ）あ、テツシュある。できたら濡れるや
つ。

カナ な……もつと要領のエエ探し方ない？（テツシュを取り
出す渡す）

キヨウコ 地道に探すしかないで。張り紙するにも迷い犬やない
し。

カナ てか鍵ってその一個？

キヨウコ うん……これはマヤのお父さんから。

シヨウコ（テツシュで手を拭く）それ予備の鍵やんな……あの
子の鈴ついてた思う。

キヨウコ うん。

カナ あんたらよう憶えてるなあ。

シヨウコ ほら。マリモの型した鈴。修学旅行のお土産でウチがあげてん。(テツシユのくずを籠に捨てる)

キヨウコ けど他に出てこんかったて、ポケットの中からも、鞆からも。

カナ 行ってみたら落ちてたりして。

キヨウコ ……もう何も残ってへんわ。

シヨウコ サツキいたらなあ。あの子ら二ケツしてよう警察に止められてたやん。

キヨウコ ……サツキは今ええねん。

カナ ええもなんも、休んでるし。

キヨウコ あれ。ウチおうたけど…。

シヨウコ サツキが？ なん、いつ来たん。

キヨウコ あ、顔は出してへんのか。…え、けど新しいサックス

は。

シヨウコ 持ってきたんはあの人らやで。

キヨウコ あの人らて？

シヨウコ カナは出てこれてたんやなあ。

カナ ウチらに会いたいて言うてたみたいやけど。あっちの都合で会わされるてなんか嫌で。逃げたった。

シヨウコ 吹いてみた？ 新しいサックス。

キヨウコ なんか音色ちやうな。

カナ 流石、騙せんな。あれ安モンちやう？

シヨウコ けどメーカーも品番も一緒やった。

キヨウコ 指のせいや思う。(手に巻かれている包帯を気にして)……まだ感覚ないし。

シヨウコ ま、新しいのはちやう音する言うしな。

カナ けど、今辞めるんもつたいなくない？

キヨウコ ああ。国公立受けよ思てな。……決めてん。

シヨウコ なんなん。……うち知らなんだ。

キヨウコ 中途半端に続けても恥じかくだけや。

シヨウコ ……好きにしたら。

カナ けどサツキ、なんでサックス持ち出してたんやろ？ あの

子オーボエやる。

シヨウコ 嫌やったんやて。コンプレックスあるやん。オーボエの子で、何も吹けんからやらされるみたいな。

カナ そんなん黙ってられても。

キヨウコ 二年で普段は普通に喋ってくるで。

カナ けど、あんた歯向かえんオーラ出すやん。

キヨウコ (ムツとして) なん、オーラて。

シヨウコ まさにそれ。……わからん？

カナ な。JRって行ってみた？

シヨウコ そない気になるんやったらバイトついでに伊丹行ってみてや。隣のダイヤモンドシティ、めっさすいてるみたいやで。

カナ ついでで、川西と方向反対やし。

キヨウコ 行くの電車走ってからにせん？

シヨウコ もうじき走りよるで。

キヨウコ なんでえ。試運転したばっかやん。

シヨウコ ニュース見てへんの。

キヨウコ 事故の原因ってはっきりしたん？

カナ 置き石て言うてたなあ。割れた石が落ちてたから。

キヨウコ それ、大分前の話しやん。

シヨウコ 脱線したら電車は敷石踏むわな。そら石割れるし落ちとるわ。

キヨウコ あの急カーブ、一一〇キロ以上出た。七〇キロ制限の所やのに。

カナ ATMがあつたらって……。

キヨウコ ATSな。自動列車停止装置。

シヨウコ 運転手がヤケおこしたとか。

カナ 自殺で。……何人道ずれにする。

シヨウコ 一日、三千万の減収やから必死や。ひと月たって落としどころ探してる。

キヨウコ ……ひと月か。ヘリコプター飛んでんの、それでか。

シヨウコ ……キヨウコ、乗るの？

キヨウコ なんともない。阪急乗れたし。

カナ あんた良い意味で図太いから……。

キヨウコ 薄情なんかなあ。

シヨウコ そういうこというてへんよ。

カナ けど、散々ボヤキ倒したらしいやん。

シヨウコ ん。なんの話し？

カナ 伊丹の駐屯地に行きたいって言うてた件。

シヨウコ ああ、マヤの話？

カナ 二年の子ら、まだ引きずってるよ。

キヨウコ たずねられて、先輩として意見を言うてみたまでやん。

シヨウコ ……蒸し返してアレやけど。悪いことやないと思うで。

キヨウコ わかってる。けどな……。

シヨウコ 吹奏楽続けるだけやし、何人かスカウトされて行つて
る先輩おるんやで。

キヨウコ 中部方面音楽隊な。でも希望通り伊丹に配属されるて
決まってるないで。全国の部署っていうの？ 振り分けられるか
ら。

シヨウコ そこまで知らんけど……。

キヨウコ これから先な、憲法とかどうなるか解らんけど、解ら
んのアカンと思うんやけど、自衛隊つて変わるかもしれんのか
ら。

シヨウコ ……あんた、そこズレてる。

キヨウコ 戦地に行くかもしれへんやん。

シヨウコ 行くかなあ。

キヨウコ 言い切れんて。

シヨウコ 楽器もつて戦うわけ？

キヨウコ 万が一、行かなアカンくなつてもうた場合……。

シヨウコ 突撃のラッパ吹きますか？

キヨウコ やつて良いこととかアカンこととか、そんな大事なこ
とが解らんようになる局面に出くわすかもしれんやん。

シヨウコ ありえへん……。

キヨウコ あるかもしれへんやん。

シヨウコ でも、それ言い出したらキリないんやで、普通に社会

出たらどんな人でも遭遇するもんちゃうの。

キヨウコ それこそありえへん。

シヨウコ 限れんよ。上から言われたことに命かけるっていうか、
そこまで行かんか知らんけど、どんな会社でも個人がリスク背

負わなアカンみたいなの、職務のためにモラル越えてしまひそう
になるとか……。

キヨウコ 職務？リスク？何が言いたいん。

シヨウコ わからんか。

キヨウコ なんでごっちゃにするかな……。

シヨウコ これは、あった話しや！

カナ 喧嘩するんやったら帰るで。

キヨウコ ほな帰りいさ。

シヨウコ 待って。ふっかけたんあんたや。

カナ ……けど。も、よそうや。

シヨウコ あゝアホらし、アホらし。アホらしやの鐘が鳴るわ。

鳴つとるわ。

カナ そないムキンなる思わんかったわ。

シヨウコ ……時間ないわ。(カナに) 探そか。

キヨウコ ……。

シヨウコ お家の人に頼まれたんやし責任もとうや。

カナ キヨウコ、神戸住んでたからずっと違和感あると思うけど、

ウチら何とも思てへん。駐屯地のお祭とか恒例やし、装甲車と

か普通に走ってるけどおもしろいやん。

キヨウコ さっぱりわからん。

シヨウコ ……なんかキレやすなつてへん。

カナ ウチらが？

に
アミ、気まずそうにやってくるが、自転車の籠に入ったゴミ

に
気付き……。

アミ ウチのチャリ、ゴミ箱かいな！

カナ ……びっくりしたあゝ。

シヨウコ 遅れて来てキレるか。

アミ そらスンマセンですけど。……ちよゝ、これ酷ないですか？

キヨウコ それ、アミのチャリやったん？

アミ え。ウチのチャリが、何か……。

シヨウコ 誰やゝ、ホンマになあ。(と、捨てたゴミを他の自転
車籠に捨てる) なんつゝか歴史というか、趣きのある。博物館
って、こんな臭いするわ。

アミ ……これ、ウチのオカンが置きっぱになつてんの、くすねてきよつたんです。

キョウコ エエンか？ そんなに乗つてて。

アミ ま。こんなボロでも愛着わくもんで。

シヨウコ それ共感度、低いからな。

アミ ……で、ありましたかね。

カナ ありましたかね、やないわ。

キョウコ ボチボチ探し始めてるんやけど、部活終わる時間からでもエエかなつて…。

アミ それやったらメール下さいよ。てかウチが遅れるて送ったメール、返事ないし。

シヨウコ それ要求する？

キョウコ ああゴメンな。マメやないんで。

アミ しゃあないですね。何処でとめたかも忘れた言うてるんですよねえ…。

カナ ……埒あかんし、早よ探そ。

アミ（携帯電話を出し）ホンマ。いくら聞いても曖昧な返事ばかり返してくるんですわ。

シヨウコ そんなこと皆に聞いてまわってるの？ 迷惑やで。

アミ いや、それがウチ的に盛り上がってるんですけど。マヤにメール送るとね…。

カナ マヤにメールで。

アミ はい。…返事帰つてきよるんです。

シヨウコ ……何しとん。

アミ 訊ねてみたんです。「自転車どこに置きっぱなん？」悪戯やないですよ。何となく、何となく送ってみたら。（携帯画面を見せる）

シヨウコ ……返事きたん？

アミ 「どこか忘れた、ごめん」って。

カナ ……ホンマに本人やったりして。

アミ そんな氣しますよね。

キョウコ アホなことせんとき。

アミ アホで。…けど、事故の時も。

キョウコ 来たよ、確かに。

アミ そやからウチ、ずっと返してる。

シヨウコ（呆れて）あんたやったな。とことんメールの返しくどいの。

カナ ……けどメールの返事って、お父さんが気いつこて送って
くれてたんやろ？

アミえ。…でもこれ、めっさマヤですよ。

キヨウコ そやで、勘違いやっつて。

アミ 嘘？ ほな、これも？ （携帯の画面を見て）…これも、
凝った絵文字のこれも。

シヨウコ どんだけ出しとんの。

アミ マジですか。これ、オトンですか…。

キヨウコ エエかげんにせんと。

アミ うう…。メル友オトン。

カナ せめてオカンやな。

キヨウコ そういうことやなくて…。

アミ でもウチらの気持ちもありますやん。

シヨウコ エエンちやう。打ってみたら。

キヨウコ 困りはるって。

シヨウコ 気いすむまでしやあないやん。

カナ ……ちよ、もう。やめてよ。

アミ 分りました。…たっぷりメールします。

キヨウコ すんのか、アンタなあ…。

カナ まあまあまあ…。

シヨウコ 今この子に何言うても無理やっつて。

キヨウコ ……少しずつでエエから理解してこう。そしたらマヤ
のこととか、ウチらに起こったこととか、納得できる日が来るか
ら。

カナ ……ほな、アミ。あっち探そ。

アミ （空を見上げ）…。

カナ どないしたん。

シヨウコ ヘリコプターか。

アミ あん時も、ずつとウチらの上で鳴ってましたね。

上空をヘリコプターが通り過ぎる。

シーン4 鉄橋の上の二人

マヤ 鉄橋の上から線路を眺めると、いつか見た景色が現れる。
サツキ 電車の走らん線路見て？

マヤ あれ見て。電車走らんから錆とるやん。赤茶けたレール、
見覚えはない？ なんもかも止んだあと、線路の上を途方にくれ
た人たちが列になって歩いてくの。

サツキ 言われてみれば、見た気もするけど。ウチには何も蘇え
らん。

マヤ デジヤブかなあ。

サツキ ……どないしてん黄昏れて。

マヤ お父さん、ウチのこと許してくれるやろか。一人置き去り
にして、怒ってるんちやうやるか。

サツキ 置き去りって。……きっと時計片手にマヤの帰り待つと
るわ。

マヤ ウチはこうなるしかなかつたんや。戻れたとしても同じこ
との繰り返しで。

サツキ そやからチャリ見つけて帰ろ。寝ぼけたこと言うてんと。

マヤ ウチは寝ボケてへん。

サツキ 夢の中はウチの方か。(頬をつねり) けど夢や思うと何
でもできる。鉄橋の上からでも飛べるはず。

マヤ 意味なく飛んでも落ちるだけや。

サツキ 意味ない言うな。……飛び降りたら、こんな夢とはお別
れや。

マヤ どんな理屈。

サツキ あれからずっと悪い夢が続いてるとしようや。悪夢が醒
める時って大抵、絶対絶命の時やんか。鉄橋から落ちて「あゝ
れゝ！」

マヤ つうか落ちとるやんけ。

サツキ ところが間一髪の所でがぼつと目覚める。「あゝ夢や
ん。」って。……そしてふつかふかのベットの所で召使いが煎れ
るティーをすすするの……。

マヤ それ妄想の域や。

サツキ 夢オチてならんか。

マヤ 落ちたら目え冴えてエエかも。

サツキ 死んでまうわ。酷。

マヤ 飛び降りるてアホぬかすから。

サツキ (突然シユプレヒコール) レールは錆ろ。世界中の電車は止まること。

マヤ 交通手段、チャリだけになるで。

サツキ 原チャに乗り換える。この思いわめきちらす。

マヤ 近所迷惑。

サツキ 神戸まで凱旋。…レールは錆びろ。世界中の電車は止まること。

マヤ なんか厳めしいなあ。

サツキ (ウグイス嬢の様に) 笑顔とCO₂を振りまいて…。

マヤ 地球にやさしない。

サツキ (力説する) 地球に厳しい女になります！ 運命に見放された特権でございます！

マヤ そない卑下しなや。

サツキ ヒゲでなんや。処理しとる。

マヤ 教養の欠片もない。

サツキ …ああ、私はかわいそう。

マヤ 何をいきなり。

サツキ 今の私はかわいそう 旦那に病氣うつされて 心が暗くて 太り気味、梅毒になってしんどいな、ほんとに私はかわいそう。

マヤ 何それ。

サツキ 知らんの？ 金子みすゞの詩。

マヤ ……そんな詩あるんや。

サツキ 嘘じゃ。

マヤ 馬鹿にすな。

サツキ なんかなあ。わあ、って広がりがり続けたウチの空が四角く なって。……なんやこのイライラ取り残され感。……それがな んやて問われても、ただ自分が哀れや思うだけで、仮に言うた ところで金子みすゞ感が際立ってかわいそコスモスしてまうわ けや。

マヤ なんのこっちゃ。

サツキ ホンマに言いたいことは、今のウチには重すぎて、ぼろ っと口から出たとたん、足元に落ちて見失う……。

マヤ いつか醒めるて。

サツキ そんな甘ないわ。ウチの悪夢は絶体絶命でも果てしなく続くんや。

マヤ キョウコさんが言うてた電車を眺めるリハビリは、ただ電車に乗る為だけのもんやないんやで。

サツキ ……そんな時、来たら飛び乗ったる。

マヤ 飛んだらあかん。段階ふまな。

サツキ 面倒くさい。

マヤ 駅を眺めるのは？

サツキ もう馴れた。

マヤ ほな次の段階。駅に入る。

サツキ 段階で。……駅員苦手や。

マヤ 駅員さんには目をつむれ。

サツキ 目をつむるで。……マヤはできるの。

マヤ はい神戸までの切符代。五七〇円。

サツキ ああ、切符買わなアカンな。

マヤ ホームに降りるよ。階段で……。

サツキ ホームの段階。ああマヤ、待って！（倒れるようにマヤによりかかる）

電車の幽霊が現れる。

乗客たち ガタン、ガタン（繰り返す）

乗客 1 普通電車が宝塚出たあと、特急北近畿が一番線に到着する。

マヤ ゆっくり、前見て。足出して。

サツキ ……ホームに……降りる。

乗客 2 九時三分発、快速同志社前行きは、北近畿の時間調整で常に遅れる。

乗客 3 でも今日はエエ感じ。定刻通りや。

乗客 1 前から五両目。乗ったら座り尼崎に着くまでひたすら寝る。それはいつものこと。

サツキ ウチ。ちよつと座りたい……。

乗客 2 三両目に乗って、外を眺めながら立つ。席は埋まって座れへん。

乗客 3 九時一〇分。川西池田のプラットホーム。この頃オーバ

ーランが多い。

マヤ 喫煙コーナー近いけど、ここ座るか？

乗客3 あの、この電車、大阪行きますか？

乗客4 東西線になるで。

乗客2 乗ってたらUSJつきますか。

乗客1 尼崎で降りて乗り換えや。環状線乗らな。

乗客2 見て。めっさ空、青い……。

マヤ サツキ。走ってくるで。

サツキ うちの虫酸も走ってくる。

乗客たち ガタン、ガタン……（大きくなる）

マヤ 見えるか。……ステンレスの四角い箱。

サツキ ブルーの縞の憎い奴。

マヤ 来たな。時間や。

サツキ アカン電車来るな。ウチは乗りたない。

乗客たち キキキキキ……

サツキ うるさい。うるさい。うるさい……。

マヤ 電車止まらへん。通り過ぎるんか？

サツキ かまへん。行ってもうて。

乗客たち ギギギギ ギ……

サツキ 行け。行つてまえ。

マヤ でも止まりそう……。

乗客3 ギっ！

サツキ げ……。

カナ 信号でギリギリ止まったんかな。

サツキ なんで止まるか。

マヤ あれ。……扉開かんで。

シヨウコ かなり行き過ぎてるわ。ドア開いても降りられん。

カナ うん。ホームがない。

キヨウコ めっさ進んで止まってる。ホームの真ん中やのに、後

ろの車掌室もうそこや。

車掌（ベルを鳴らす）電話機にかかれ。

サツキ ああ。この電車や。またこれに乗らなアカン。

シヨウコ 線路脇に草生えてるわ……。

車掌 只今、後退しますのでご注意下さい。

乗客たち ゴン！ ……ガタン、ガタン。

キョウコ 絶対まともに止まらん思ったなあ。
マヤ あ、いてはったんですか。

キョウコ いてはったて何よ。

マヤ ……いえいえ。(サツクスを隠しつつ) おはようござい
ます。

キョウコ エエよ。そんなん黙っとくから。

カナ わざわざ時間かけて戻らんでエエのに。

アミ 電車もバックできるんですね。

シヨウコ・カナ あたり前やろ。

キョウコ みんなもこの快速やで。

マヤ え。そうなんですか。

キョウコ なん、あんたら別行動？

カナ ……あ。キョウコおるで。見てみ。

アミ え。どこ、どこ、どこ。

シヨウコ あの子、前の方乗るんかなあ？ 混んでるのに。

キョウコ みんな空いてる後ろかなあ。

アミ あんまJR乗らんから、バックしてやっと伊丹てわかつた
わ。

サツキ ね。キョウコさん。またこれ乗るん？

キョウコ え。何言うとん。

サツキ 電車の幽霊。

キョウコ なん寝ぼけてるん。遅れた一四分の快速や。

乗客たち ガタン・ガタン…：タン。

カナ こんなえげつない停車ミス。新聞にのるかもしれん。マジ
で夕刊。

ドア プシュー。(ドアが開く)

キョウコ 女性専用車両行く？

マヤ 九時過ぎたらありませんよ。

キョウコ なんや二人、前行くの？ ……あ。

ドア プシュー。(ドアが閉まる)

キョウコ なんや焦ってる？…：ドアすぐ閉まったな。

乗客たち …：ガクン。

キョウコ (よろめき) 前は混んでて座られへんな。後ろ行かへ
ん？

マヤ いえ。前の方で。(前に歩き出す)

キヨウコ え。ちよ。待ってよ。

車掌 この電車は尼崎から東西線経由の快速同志社前行きです。
……次は尼崎、尼崎です。

乗客3 あれ、……なんや普通に。

乗客2 なあ、詫びろよなあ。……詫・び・ろ。詫・び・ろっ
(小さく繰り返す)

キヨウコ 部活辞めてだいぶなるなあ。でも

(サックスを指し) 自主練してんやな。

サツキ いえ。これはウチが。

キヨウコ はは。……なんでまたサツキが。

サツキ へへ。……なんでで言われても。これはウチが。(うつ
むく)

アミ ね。あのオツちゃんマジギレしてる。

シヨウコ 車掌室のガラス割れるんちゃう？

キヨウコ え。じゃ神戸かな……。

マヤ 中学の同期と。先、乗ってるはずなんです。川西からメー
ルで連絡取り合ってた。

車掌 (アナウンス) 先程、伊丹駅の停車時にオーバーランをい
たしました。大変ご迷惑をおかけしたことを深くお詫びします。

乗客2 お。詫びよったで。

マヤ ……じゃ、これで。(と、移動する)

キヨウコ ウチのこと避けてへん？

サツキ (振り向き) そんなことないですよ。

キヨウコ なあ。マヤ。

マヤ (振り向き) え。ウチがですか。

シヨウコ ……けど、ごつつ揺れるなあ。

キヨウコ まだ怒ってる？

アミ 急いでるんですかねえ。

キヨウコ 辞めることなかったんやで。

マヤ そんな全然ですよ。全然。気にせんといして下さい。(歩き
出す)

キヨウコ アカンの、うちと一緒にじゃ。

マヤ ……。(サツキの手を握り走り出す)

キヨウコ (追いかけ) ホンマどこ行くん。

カナ 尼崎で連絡あるから時間取り戻すんや。

キヨウコ ……なあって。(走り続ける)
シヨウコ ま。塚口辺りで遅なるわ。
サツキ エエんで、ほっといて下さい。
乗客たち カタカタカタ…。
キヨウコ なあ。ぶっちゃけどうなん。
乗客達 ガタガタガタ…。
カナ あれ工場や。もう塚口すぎてるで。
サツキ 二人にして下さい。
キヨウコ 誤解してるて。
乗客たち ガクン！
マヤ すんません！(スピードを上げる)
キヨウコ メール返してよ、せめて。
マヤ 前に行きます。
キヨウコ なあって！(追い続ける)
シヨウコ 名神高速を越えると…。
キヨウコ マヤ！
カナ あっと思って前を見た…。
キヨウコ アカンて、そっちは…。
サツキ 何がアカンのですか。
キヨウコ 前の車両はあぶないんや！
サツキ (立ち止まり) 鉄橋の上で事故思い出して何になるん。

電車の幽霊が去っていく。

キヨウコはサツキもマヤも見失い、取り巻く全てのものから置き去りにされてしまった。

サツキが闇に浮かび。

サツキ なんでウチがこうなってもうたんかは、もう切り捨ててる。止まったままの時間はやつかいなもんで…。ウチが思うにこの現象は、広がり続ける宇宙の法則ではありえんことやけど、窓から見える木々の成長、そよぐ風のそれとは別にリアルにあつて、その時間は直線に進まず、カーブを描いてスピニングする。すると景色は透明から次第に赤みを帯びて、マグマのようにウチの中に留まり続ける。それは太古の昔から怒り続けて

るんやとウチに囁く。：：ウチは時折、その火口を覗き込む。
：：外を走る車の爆音。振動で震えるガラスの悲鳴。痛みを忘
れたウチをオモロそうに眺める若い大人の目。そして病室で待
ち受け直立不動で含み笑いをする礼服の出で立ち。ウチからね
じれた時間が沸き出すと回りの人を苛つかせ、ありったけの皿
と花瓶を粉々に砕き、オカンを泣かしてウチの命を萎えさせる。
もし、ウチが最も前向きになる手段はがあるとすれば、それは
とことん萎えること、負け続けることが必要なんや。つまり走
り出す直線の時間を永遠に否定すること。

シーン5 街の中の夕暮れ

シヨウコ カナ。もうぐるってしたあ？

カナ 一周したかな。……見分けつかんけど。

シヨウコ マジで暑。どっか休めるところない？

カナ ……あんたまた油断した？

シヨウコ 焼けた？ ちゃー六月やもん。

カナ そや、マクドやったらクーポンあるで。

シヨウコ おゝ助かる。

カナ (クーポンを取り出し) これ、ポテトのSな。……で、ポテトのSと。これポテトのSで……。

シヨウコ 全部イモかいなあ。も、助けて。

カナ な。キヨウコ。ウチ、もう時間なんやあ。

キヨウコ ……。(チリリと自転車のベルを鳴らす)

シヨウコ おい。キヨウコ。(顔をつねる)

キヨウコ ひ。……あ、鍵な。あれ。

シヨウコ (カギを見せ) ここ、ここ。

キヨウコ え。ちやうの？ ……何よ。

シヨウコ 何よて。……カナ、バイトつて。

キヨウコ あ、ごめん、ごめん。ありがとな。

シヨウコ ぼゝってしてからに。……結局、今日も付き合ってくれたで。

カナ ええねん。ええねん。ほな、なんなとメールしてな。(自転車にまたがる) 終わったら暇してるし。

キヨウコ ……ありがとう。メールな。

カナ 急がな。阪急まで来たら、めっさ川西遠なった。(去る)

シヨウコ 羽ばたけ。川西へ。

キヨウコ ……あれ、アミは。……ん？

シヨウコ キヨウコ、ホンマ変やで。

キヨウコ 飲む？(リックから水筒を出す)

シヨウコ 自覚ないんが痛々しい。振り幅はげしい……。 (受け取り、飲む)

キヨウコ ……そや、こないだのことやけど。ゴメンな。何て言うか、縁起でもないこと。

シヨウコ (吹き出す) ……縁起で。

キヨウコ お兄さんの仕事のことあるやん。

シヨウコ かまへんて。向こうから連絡しよつちゆうよこすし。
てか、言われるまで忘れとった。

キヨウコ 学校のOBの方も亡くなってはるし。……確か、二年
とき朝礼で黙祷した。

シヨウコ その外交官の人は気の毒やけど危ないところ行きはった。
自衛隊いつてるサマワは大分まともなんやて。ま、ソレはソレ
や。

キヨウコ エライ人が言うには銃弾が飛び交っても『行くところ
が非武装地帯』やって。

シヨウコ ……ふりん。
キヨウコ ふりんって。

シヨウコ 何心配しとん。あんなな。ぼうって、その目でどこ見
とん。今ウチらは、この先もずっと何と戦わなアカンかわかって
る？

キヨウコ なんと戦うて……。

シヨウコ ま。人それぞれか。……ありがとう。

キヨウコ (水筒を受け取る) ……。

シヨウコ な。自転車。どうせJRやろ。あの子ら乗ったん伊丹
からやし。

キヨウコ そう思う。

シヨウコ てか、あんだ一人で電車走ってへん線路、眺めてたな。
キヨウコ なん。……見てたん。

シヨウコ ダイヤモンドシテイいった帰り。

キヨウコ 声かけてえや。

シヨウコ あんたウチ無視した。……しやあないし、ウチはスー
って透明な空気みたいに通り過ぎるしかなかった。

キヨウコ ホンマに。

シヨウコ なんでか、よう見かけるんよ。どこでもすれ違う同
じ柄した猫みたいに。

キヨウコ 嘘。ドツペルゲンガーちゃう。

シヨウコ オモロイな。ウチがそれやったらどこ現れてもらおう。
煩わしい所で言う……学校いつてもらお。んで先の進学。職
場。なんしかへマやらかして掴まっても刑務所には別のウチに
おってもうて、裁判所で判事してるのもウチやったりして。

キョウコ 何人分裂するん。

シヨウコ けど、知ってる？ 分身で、自分の命が消えかかっている時に現れるって。芥川龍之介のエピソード。

キョウコ 根に持つなあ、ウチ無視してへんて。

シヨウコ 今度見つけたら、つねったるわ。目え醒しや。

キョウコ ショウコは強いな。

シヨウコ 後ろの車両やったからな。もう新幹線乗ったし。トンネル入る時、メキメキって音、イラついたけど。……デイズニールランド行っちゃった。やっぱオフ・シーズンに限るな。暇なミツキーがウロウロ安売りしとったで。

キョウコ 一人で？

シヨウコ アホ彼氏と。

キョウコ 余裕やな。

シヨウコ 大人や。満たさな、飛べんし。

キョウコ 自由やな。

シヨウコ ……リハビリもアレやけど。夜に人気のない所でぼうって、危ないで。

キョウコ 駅眺める間だけや。馴れたらホームに降りる。

シヨウコ 降りたら降りたで……。

キョウコ まだ電車は乗らん。通り過ぎる電車を眺める。そこで馴れて、気持ち落ち着いたらやっとな乗車。最初は普通で一駅づつ。

シヨウコ 猪名寺。

キョウコ 塚口。……馴れていって。

シヨウコ ……事故の現場か？

キョウコ そんな時は一思いに。快速で尼崎。

シヨウコ 騙し騙しで乗り切るわけか。

キョウコ こんなん渡されてる。(お菓子のラムネの瓶を見せる) ヤバなつた時に飲めって。希望が湧いてくる菓らしい。

シヨウコ こんなん飲んの？

キョウコ まさか。どんどん増えてくし、調べたつた。ネットやったら二万円位で取り引きされる。

シヨウコ 電車でアカンくなつたら、グイって飲めるん。

キョウコ 飲まんつもり。最悪尼崎まで発狂や。

シヨウコ 意味ない。

キヨウコ 抵抗や。

シヨウコ 医者に抵抗してどない。

キヨウコ あの人らに紹介された医者やで。

シヨウコ 矛先が違う。

キヨウコ 分類されて、病名告げられるのつて、なんかしやくや。

思わん？

シヨウコ 医者行つてるところで、もう取り込まれてるわけや。

……子供か。

キヨウコ どないせえて。

シヨウコ 頼れば。

キヨウコ ウチの何がわかるんかなあて。

シヨウコ ……そら知りませんけど。

キヨウコ 怪我した人より、大切な人亡くした人の方がシヨック

でかいって。受け入れられへん人、ホンマ多いやん。

シヨウコ みんなのことか？

キヨウコ そやから自転車探さんと。

シヨウコ あんた、探すことに意味があるつて言うけどな……。

キヨウコ これはウチのアイディアや。医者 of 言いなりやないで。

シヨウコ あと忘れてるで。どんな目あった人が辛いんか。

キヨウコ 誰のことよ。

シヨウコ 助けられんかったて背負う人。

キヨウコ ……ウチはお葬式いけたよ

シヨウコ ちよ、待ち。……包帯くつちやくちや。(手に巻かれ

た包帯を巻き直す)

キヨウコ ……鉄橋の上からレール眺めると。レール錆びてて、

色んなことが湧き出てくる。

シヨウコ 錆びたレール見て？

キヨウコ 遮断機が降りへん踏切あつて。そこで走ったり、遊ん

だことあつて。

シヨウコ 危な。どんな状態なん。

キヨウコ 電車は止まって。ヘリコプターの音して。焦げた臭い。

家が傾いてた。けど、はつきりせえへん。ウチの思い出？いや、

まるきり違うかも、な。これ誰の思い出なん？

シヨウコ ……それ聞かれても。

キヨウコ 死んだ時の思い出か。……え。シヨウコ知ってる？

シヨウコ しっかりしい、あんた生きてるやろ。

キヨウコ な。ウチ生きてて良かったんかな。

シヨウコ ……なに言うてんの。

キヨウコ 前の車両乗ったらよかってん。

シヨウコ おい。

キヨウコ そしたらあの子ら、ウチ避けて危ななかつたんよ…。

シヨウコ 生きててエエとか、悪いとか、そんなことは問題やな

いからな。

キヨウコ みんなそう言うて取り繕う。

シヨウコ 本当のこと言うてるだけや。誰よりマシとか、誰より

しんどいて、そら言うわ。けど、そんなん考えても意味ないし。

キヨウコ そうかな。

シヨウコ ……しんどかったらレール枕にしてくたばったらええ。

キヨウコ ……。

シヨウコ なんなら付き合うで。…けど、そのレールの上は、

こうしてる今も、やれ急げ、やれ間に合わんわて、命揺らして

電車走らせてる。ウチらがいくら抵抗したところで錆びたレ

ールはすぐツヤツヤになって。研いだ刀は寝転ぶ首をスツと切り

落として去って行く。

キヨウコ シヨウコ。

シヨウコ そして陳腐な悪人が法廷でシラつとこう発言するんや。

…想定外のことやから気付くこと自体がおかしな話しですわ

あて。

キヨウコ シヨウコ、なん怖いこと言うん？

シヨウコ なんでえ。それが便利で快適って話しやん。(シヨウコ、

手にした包帯を落としてしまう。転がる包帯は白いレール)ウ

チにはそのレール。流れた血が錆びたんに見える。

シーン6 キョウコたちの見つめるレールの上に人影が浮かび

それは「誰かの時間」なのだろうか。定かでない止まってしまった時間の束がふと現れて。

車掌 ええ。そうです。……スピードの出し過ぎか何か……ちょっと、わからんのですけど。確か、運転手とは宝塚を出る前にホームですれ違いました。けど、ぶすつと黙ったままで。一〇も上やから話きたいげな思たんですけど、車掌は下に見られてるんですかね。……ホンマあきませんわ。コミュニケーション大事にせんと。同じ電車に乗る車掌と運転手なら尚のこと、互いに顔は知ってるけど名前は知らんから、それきりで……。

乗客たち ガタン、ガタン……。

車掌 (ベルを鳴らし) 普通電車が宝塚を出たあと特急北近畿が一番線に到着。同志社前行きは、北近畿が発車するまで時間の調整……。

乗客3 今日はエエ感じ。定刻通り。

乗客4 乗ったら座り尼崎に着くまでひたすら眠る。それはいつものこと。

車掌 電車は宝塚を九時三分四五秒に発車。

乗客2 三両目に乗って、外を眺めながら立つ。

乗客3 あのーこの電車。大阪行きますか？

乗客4 東西線になるで。

乗客2 じゃ、乗ってたらUSJ着きますか。

車掌 いや、尼崎で降りて乗り換えやで。環状線のらな。

車掌 中山寺。ドアを閉める時、駆け込み乗車あり。一〇秒から二〇秒遅れての発車。

乗客3 川西池田駅のプラットホーム。このごろオーバーランが多いわ。

車掌 客が多いな、また駆け込みか。

乗客2 みて。めっさ空、青い。

車掌 七両目の車掌室から顔を出す。川西池田を二、三〇秒の遅れで発車。次は北伊丹通過で伊丹に停車……。

マヤ サツキ、早よ。もう電車来よるで。

サツキ あの電車、先輩ら乗ってへん？

車掌 おゝ運転手。ブレーキまだかあ……。念のため非常ブレーキに手を添える。

ボイス 停車です。停車です。停車……。この駅止まるよなあ。

キヨウコ なんでも、このブレーキや。

車掌 あっかん、ブレーキや。

マヤ 通り過ぎるのかな？

車掌 プラットホームに差し掛かる。

乗客たち キキキキキ……。車掌 やつと気付いた運転手のブレーキ。

サツキ 行ってまいそう。

乗客たち ギギギギギ……。マヤ でも止まるで。

乗客3 ギッ！

車掌 最後尾がホームの中頃に停まっとる。前の客は、降りられへん……。キヨウコ めっちゃ進んだなあ。後ろの車掌室、もうそこや。

車掌 (キヨウコと目が合い) ……かなんな。

マヤ あれ扉あかん。

運転手 ドア開けるとよけい危ないか。

車掌 前の客が降りてもホームがない。

運転手 ……線路脇に草生えてるわ。

車掌 (ベルを鳴らす) 停止位置をなおせ。

キヨウコ 車掌は慌てるわけでもなく、電話で運転手に指示出してんのが聞こえた。

運転手 (ベルを鳴らし) ほな。今からバックするで。

車掌 只今、後退しますのでご注意ください。

乗客たち ……ゴン！ ……ガタン、ガタン。

キヨウコ これ。ぜったい止まらんとしたな。

マヤ あ、いてはったんですか。

キヨウコ いてはったんで何よ。

マヤ ……いえいえ。おはようございます。

乗客3 電車もバックするんですね。

運転手・車掌 あたりまえや。

ドア プシュー。

キヨウコ 何。早く閉まるな。あせってる？

車掌　こんなえげつない停車ミス。新聞にのるかもしれん。……
マジで夕刊。

運転手（ベルを鳴らし）電話にかかれ。

車掌　この電車は尼崎から東西線経由の快速同志社前行きです。

……次は尼崎。尼崎です。

乗客3　あれ、……なんや普通に。

乗客4　なあ、詫びろよなあ。……詫・び・ろ。詫・び・ろっ

（小さく繰り返す）

車掌　（ベルを鳴らし）はい。もしもし。

運転手　えー、すいません。伊丹で、行き過ぎてしもた距離あり

ましたよね……。

車掌　せやな。五、六〇メートル。んー、もっといつてると思

うで。

運転手　その距離ねえ。まけてくれませんか。

車掌　……かてなあ、大分いつてもうたよ。

乗客3（サドルをドンドン叩き）おい。遅れてんやろ。詫びの放

送入れたれやコラ。

車掌　……。電話を切る）

運転手　もしもし……。ベルを鳴らす）

車掌　ええ、大変申し訳ありません。すぐに放送させていただきます

ますので、お待ち下さい。

運転手　（ベルを鳴らす）出て！

車掌（アナウンス）……先程、伊丹駅の停車時にオーバーランい

たしました。ご迷惑をおかけしたことを深くお詫びいたします。

乗客3・4　おー。謝りよったで。

指令員（ベルを鳴らし）こちら指令、どうぞ。

運転手　……尼崎か。ヤバいな。

車掌　えー、五四一八Mの車掌です、どうぞ。

指令員　五四一八M車掌。内容どうぞ。

車掌　伊丹での行き過ぎですけれど……。

運転手　頼むわ……。

車掌　後部（ごぶ）限界表示およそ……。八メートル行き過ぎま

して。運転士と、えー、打ち合わせの上、後退で、えー一分半遅

れで発車しております。どうぞ。

指令員　後部限界を八メートル行き過ぎ、後退。客扱い。えー遅

れにつきましたしては、何分でしょうか。どうぞ。

車掌 えー。……一分半です。どうぞ。

指令員 えーそれでは替わりまして再度、五四一八運転士。応答
できますか。どうぞ……。

一〇七台の自転車が激しく震え始める。

車掌 ……これは奴のためになればと思つての虚偽報告。……つ
きとおさなあかん。

運転手 助かった。おおきにやわ。

指令員 五四一八M運転士……。

激しい自転車の震えは止むが。一台だけ震え続ける。サツ
キが鍵をこじ開けているのだ。

シーン7 鉄橋の上の三人

アミ そない無茶したらカギ穴つぶれへん？

サツキ 大人しく開いてほしいんやけど。……あれ向こうは？
なかつたん？

アミ なかつた。学校もなかつた。イチイチ鍵差してみなワカラ
ンて、要領悪すぎや。

サツキ 不満あるんやったら、直接言えば？

アミ 自分できんこと人にさせなや。……ちよ、もうエエやろ。
替わる。そこどいて。

サツキ こんなカギ。すぐ開きそうやのに。

アミ それウチのチャリやねん。

サツキ おお。

アミ おお、やないで。

サツキ てえか。名前書きいさ。

アミ (カギを抜こうと) あつちや。全然抜けんくなつてもた。
せつかく新しい鍵つけたのに。

サツキ アミってこんなボロ乗ってたんや。

アミ ボロいうな。……その辺の置きっぱ、オカンがくすねてき
よつたんや。

サツキ パクつたんかい。

アミ ポリ見たたら、ビビるで。

サツキ ……なんちゆうか、生きてく力やな。

アミ ちやう。オカンやることオッサンやねん。

サツキ アミのオカン。園田のオッサンか？

アミ 園田のオッサン？

サツキ 知らんの。園田の競馬で有り金すつたオッサンらがチャ
リをパクってはよう掴まっとなや。地元の人はそのういうオッサン
を……

アミ あかん。オカン園田でめっさ競馬する。

サツキ ……それほとんどメンパーやで。

アミ これ、こつそり返そかなあ。

サツキ マヤのチャリもどつかに乗り捨てられてんのかなあ。

アミ ……ほんでサツキ、マヤはどこ？

サツキ ……ん。何言うとん。

アミ 何言うとんて……。

サツキ そこ居るやん。

アミ え。そこつて。

マヤ 元気やった。

アミ わ……おお。……生(ナマ)や。

サツキ 何、何？……ニコニコして。

アミ ウチ……ずっとメールしててん。

サツキ そうなん？

アミ メル友やから。返ってきたから、そうや思つて。

サツキ アミにはすぐ返してるんや。

アミ(飛びつき)……マヤやな、マヤやな。

(離れ)そない見えて、オトンやないな。

サツキ なんでオトン。

アミ メール返してるのマヤのオトンで聞いて。……背中ニア

スナーとかついてへんよなあ。

サツキ 着ぐるみやないし。

マヤ ……律儀やもんな、アミのメール。

アミ うん絶対返してる。終わらせへん。

サツキ 愛やなあ。くどさも愛になるんやなあ。

アミ (満足して)……早速でアレやけど、チャリつて月極で止

めてたんやなかつたん？

マヤ いつも適当に止めてたしなあ。

アミ 困った奴ちやなあ。

サツキ 世話焼けるやろ。

アミ ホンマこいつは。(携帯電話を取り出し)……メールした
れっ。

サツキ そこにおんねん直接言え、直接。

アミ ああ。そやな……マジおるもんな。

サツキ キョウコさんには内緒やで、駅来るときメールせえつて
言われてるけど、マヤが。

アミ うん。……バリ仲悪いんやろ。

サツキ 心配してくれてるんやけど……。

アミ じゃ、駅に来るなてメールするわ。

サツキ それ気になつて来るやろ、普通。

アミ 因にカナさん達は連絡済みやで。……先輩ら悠長なこと言

うてるけど、ちゃつちゃと見つけたらんな。

マヤ ……もう走るんやてな。電車。

アミ うん……けど普通、黙って走らせへん

よなあ。乗ってた人らに、断り入れるよなあ。

サツキ ウチは何も聞いてへん。

アミ ウチには手紙きた。……テレビでも、不便やいうてる人、

仰山いてるし。

サツキ アミは乗るの？

アミ そら怖いし抵抗ある、けど解らんわ。家の皆も黙ってるけど、結局みんな乗るもんな。

電車の幽霊の音が聞こえてくる。

マヤ 電車が走る。……ぜんぶ消してく。

サツキ 消えるって、なに怖いこと言うん。

アミ ……あれやな。試運転の電車。

サツキ 試運転？違うであれば電車の幽霊や。

アミ え。電車の幽霊？

サツキ達の近くを電車が通り過ぎ、辺りが照らされる。それは別の照らされた場所にシヨウコとキヨウコ。

シヨウコは自転車の荷台にキヨウコを乗せて走っている。

シーン 8 地獄坂

キョウコ 鉄橋の上から錆びたレールを眺めると、前へ前へと歩くあの子らが現れる。いくら追っかけてもいつも同じで。……最後にメールしたのは電車の中。

乗客たち ガタン、ガタン……

キョウコ ……返ってくるはずあらへん。ウチは近づくこともできなくなつて、前から四両目。ガラス越しにあの子らを眺めた。何話してるんやろう。

乗客たち ガタン、ガタン……

キョウコ 遅れた電車は勢いよく走りだした。後戻りした分、取り戻すんやろか。これは早いて感じた。けど、この慌ただしさと程よく合う人も中にいて、せわしく時計と流れる景色を見比べ、確かめていた。

運転手 尼崎の連絡まで、時間取り戻さなな。

サツキ ……もつと前に行きます。

キョウコ あ。またきらわれてもうた。……あの子らはウチの視線に気づいて、前の方に。二両目に消えた。ウチはまたあの子らを見失う。

マヤ 全然ですよ。気にせんといってください。

キョウコ 気になるて。

サツキ な。なんか怖ない？

マヤ この電車が？

キョウコ あの子らとはよう神戸で遊んだ。須磨浦のおばさん家からは、すぐ海が見えて、砂浜に行くとうちは必ず裸足になる。砂つぶと足の裏との信頼関係。ウチらは安らぐ。そこでは何もくずれんし倒れるもんもない。あの二人とウチは神戸の震災で越してきたから……ああそうなんうちもやわて、そんなつながり。……マヤはお父さんと二人きりになつてもたから、特に気の毒や思て、尚更ウチが面倒みなアカンちやうかて勝手に思て、なんかあると叱った。頼まれたわけやないのに。けど、これは全てウチの過ち。

指令員（ベルを鳴らし） 五四一八M運転士。応答できますか。どうぞ。

キョウコ 解つてくれて、言う方がおかしい。

運転手 ……まずいわ一分半で。

マヤ 怖ないで。塚口越えたら遅なるわ。

サツキ 塚口で、今どのあたりなん。

キヨウコ 孤独になると、電車の振動から、人の焦るような気持ち
ちが伝わってきた……。

運転手 (ペダルをこぎなが) 尼崎まで停車駅が一つ増えたのに、
同じ時間で走り切らなアカン。一分間のロスは、伊丹と尼崎の
間で帳尻を合わせるとダイヤに書いてある。……伊丹から塚口
を一二〇キロで通過、名神高速の高架前で減速。……この区間
にATSはない。そもそもあったら、こんなダイヤは組まれへ
ん。みんなも制限速度の七〇キロ以上で走り半径三〇〇メー
ルの急カーブを曲がってる。

キヨウコ ウチは急いでほしくなかった。

指令員 (ベルを鳴らし) 五四一八M運転士。

運転手 ギリギリ、行けるとこまで行こ……。

指令員 (ベルを鳴らし) 応答できませんか。

運転手 「スピード・アップ」「やさしい運転」職務は矛盾だらけ。
けどみんな黙ってる。上からの指令は全て合法で抗えば犯罪者
扱い。

キヨウコ ウチは急ぎたなかった。ただ無事にたどり着きたいだ
けやった。

運転手 上からの命令に、従い。ただ、それを実行する。……決
められた目標のために個人はリスクを背負う。……先のカーブ
はきついし減速や。……けどカーブでの車両の横転は、制限速
度の倍の速度で聞いたことがある。

指令員 五四一八M運転士。

運転手 リアルな話、先のカーブは七〇キロ制限やから、たとえ
フルノッチの一二〇キロでも倍になるはずがない。

マヤ 工場や。……塚口とつくに越えてる。

キヨウコ ウチはまだ、あの子らが行きたかったおばさん家にと
どり着けてない……。

運転手 罰ゲームはもうこりこり。熟練の運転手が自ら命を断つ
た。九〇秒の安全確認を遅延とみなされ、吊るし上げ。組合の
関係で尚更いじめられた。六〇メートルのオーバーラン。車掌
は八メートルで誤摩化してくれた。けど機転利かせや。八メー

トルぐらいのオーバー・ランで一分半の遅れはないで。それやと遅すぎて辻褃があわんようになる。詰め所の張り紙には「虚偽報告には厳正に対処する」て書かれてある。……嘘がばれたら日勤や。

車掌 もう名神の高架や……。

運転手 ホンマ、それやったら死んだ方がマシや……。 (ペダルをこぐスピードに呼応し、一〇七台の自転車が激しく揺れ始める。)

指令員 五四一八M運転士……。

キヨウコ あかんウチは探さんと。あの子らを。

指令員 応答できますか。

運転手 名神越えた。なんや、揺れるな。

キヨウコ 探し出さんと。この事故の真犯人を。

運転手 なんで、これで限界なん。

マヤ 危ない。

乗客達 ガクン！

運転手 嘘や。

キヨウコ ウチはあの子らとおばさん家に着きたいんや。絶対に

倒れん、絶対に崩れん。

運転手 普通電車から快速。その先が新快速、特急を経てやっと

新幹線に乗れるのに……。

マヤ みんな、電車倒れてる。左や。

運転手 僕は新幹線になる。僕は新幹線になる。

キヨウコ たどり着きたかった。丈夫なおばさんの家……。

電車の轟音。闇。

呆然と立ち尽くす、サツキ、マヤ、アミ。

シーン9 まわり出す歯車

アミ …… どないした。

サツキ …… 走ってるんや。電車。

アミ そやで。あれ幽霊なんかやないで。

サツキ どないなっとな。

アミ びびったん？ 近く通ったし。

サツキ (マヤに) なあ。ほんまなん。

マヤ 何が。

サツキ 走り出すんが合図やって。

マヤ うん。ウチ電車で行くから。

サツキ 何で電車乗るん。探してるチャリは？

マヤ 学校行くんやない。お母さんに会うんや。

アミ なんでオカンなん。…… マヤのオカンで。

サツキ ああ。神戸行くんか。

マヤ そやなあ。神戸的などころかな。

サツキ ほな。やっ与会える的な。

マヤ そやな。…… ほんまやっ与会えるんよ。

サツキ なんや。ほなやっとな。エライ面倒臭いことになって

もうて。

マヤ ちやうよ。言うたやろ。電車で行くて。お父さんには悪い

けど。

サツキ (悪い予感がして) …… おっちゃんに

怒られるてなんなん。

マヤ それはエエことやない話しやから……

カナ、自転車を探しながらやって来た。

カナ …… 今日ほもうボチボチやねえ。

アミ なんや。もう弱音。

カナ 吐いてへん。時間的なしがらみや。

アミ ウチなんか今日めっさまわりましたよ。お寺のファミマに

関西スーパーでしょ。

カナ 全部、この駅近辺やん。

アミ 次ニトリ行って。関西スーパー。

カナ うん。

アミ かつぱ寿司でしょ。関西スーパーまわ
って。スシローと……。関西スーパー。

カナ 一々、関西スーパー寄るんか。

アミ あっこ警備がザルで置き放題やし。

サツキ 回転寿司も？

アミ ま。考えがあつてのことですわ。

カナ マヤが行つてそうなところやと？

アミ ほんましんどかつた。……こたえた。

カナ やせてええわ。

アミ ……腹もはった。

サツキ ……食うてたんやな。

カナ サツキ。あんたも無理せん。

サツキ ウチは大したことないんです。

カナ ほな部活顔出せ。文化祭の練習始まつてるんやから。それ
に、これは元々キョウウコが引き受けた話なんやで。

アミ カナ先輩。……キョウウコさんは。

カナ あんた撒いて来い言うたけど、千僧の駐屯地ぐるってまわ
って今日は解散つになつた。

アミ ほな。大人しく帰ってはりますね。

カナ (サツキに) 気まずいんやろ。

アミ けど、こっちにも訳があつて……。

カナ どんな訳なん。

アミ 黙って付き合つて下さいよ。……どうせ帰つても、菓子食
うて寝るだけでしょ。

カナ それお前やろ。ウチはバイトあるしな。

アミ けど、ウチら大マジなんです。

カナ どういうこと？

アミ (サツキ) な……。

サツキ うん。

カナ 聞かせてや。

アミ (カナに) ……な。

カナ な。じゃわからん。

アミ ウチにもなんやワカランのですけど。
カナ 適当かあ。

アミ 電車が走るとマヤが行ってまうんです。

カナ ……あんな。確かにマヤからのメール返事くるで。けどお家の人やって。好意に甘えるんもエエけど、真に受けてたらアカンて。

アミ メールはマヤからなんです。

カナ 理解せな。

アミ (鍵を取り出し) このチャリの鍵。わかります? (チリリと鈴が鳴る)

カナ え。

アミ マヤが持ってきよったんです。なくした自転車のカギ。

カナ 嘘。

アミ カナさんも信じてへんやないですか。メールやりとりしてはるんでしょ。

カナ あんたは居てるて思てるの?

アミ はい。メールで知らせた通りですよ。

マヤはおるんです。

カナ (マヤが目線に入る) ……どういうこっちゃ。

アミ 解らんですか?

カナ わかってるで、十分。……わかってるから信じられへん。

アミ どういうこっちゃですか。

カナ メールでずっとやりとりしてたから。(マヤを見つめ) ……なあ。

マヤ ……こんばんは。

アミ うちも、たまげたんやけど。……メル友オトンやないんやで。

カナ ……つながってたからな。

マヤ ええ。

サツキ 妬けるなあ。

アミ (携帯を取り出し) ……うちもそれっ。

サツキ くどいっちゆうねん。

カナ ……キョウコ、メールやったら少しは素直やで。打ったったら?

アミ あきません。キョウコさんは禁止。禁止。

カナ サツキは会ってたんやろ? キョウコ、そんなこと言うてた気いするけど。

マヤ　いつもいてはるんですかね。こないしてる今も、キョウコ
さんは鉄橋の上にならずと……。
アミ　え。……いてるて何処に？

ショウコ、現れるが周りに全く気付かれない。

マヤ 線路みてる。

アミ あの鉄橋？

カナ 他にもあるやろ。線路見渡せるところ。

アミ（警戒し）おっかない。くの一みたいや。

サツキ 鉄橋の上からなに探してるんやろ。

シヨウコ あの子、いつも鉄橋の上に乗っ立ってるけどウチにはどっか違う場所、あの時の事故現場にずっといてる気がする。切った手ぎゅっと押さえて。ぶつかったマンシヨンの方をじっと見つめて。救急や記者から声かけられても、ずっと押し黙って。ウチその時、そこにいるんがキヨウコやて自信が持てなくなって：：目の前の景色にキヨウコって呼びかけてみた。したら、こっち見て。ああって。やっとそれがキヨウコになったって感じで。

キヨウコ 何が起きたんか、聞きたいのはウチの方やった。

シヨウコ 脱線した電車の反対側に誘導されて、現場はシート張られて見えなくなってた。けど、あの子、ずっと見つめて。

キヨウコ 次から次に大きな声で、何があったんやて聞いてくる。

乗客3 大破した白いワゴン。アレが原因か？

キヨウコ そんなで脱線するわけない。ぶつかったマンシヨンに止めてあった車やん。

シヨウコ しゃあないから、持ってたペットポトルのお茶あげた。

乗客1 電車が脱線した。それに乗ってる。

シヨウコ けど飲まんかった。一緒にいたおっちゃんにあげた。けど、おっちゃんは：：。

乗客3 出勤は何時や。

乗客1 はい。十四時です。

乗客3 出て来れるな。

シヨウコ 携帯に向ってキレてた。

キヨウコ あの子らが乗ってる車両がどれなんか、わからんかった。ウチが降りた車両から前にもっとあったはずやけど、それともウチの勘違いなんか。：：：数が合わんかった。

シヨウコ 報道のヘリがずっと飛んでたなあ。

キョウコ 焦げた油の臭い。……覚えのある救急車の音、慌ただしい人々の声。

シヨウコ あの子、なに睨んでたんやろ。怪我した手から血が流れて。しゃあないしウチがハンカチで巻いた。……持ってた切符、血がにじんで。

キョウコ (切符を見つめ) これデジャブかな。

サツキ ……デジャブや。

カナ 二人のこと心配してたんやろ。

シヨウコ まともに口聞けんかったから、しゃあないメールした。……したら返事かえってきた。……至近距離でメールしあった。

キョウコ 血を流して怒ってる人も。動かなくなった人も。皆、定まらん目で何か探してた。

サツキ えらいことに遭遇すると、スローモーションになる言うけどホンマそうだった。向いの窓から真っ青な空が見え、座ってる人が重力から解放された。背中のガラスが割れると、後ろの人らと一緒に飛ばされ洗濯機の中みたいに前へ転がった。アルミ缶の潰れる音を出しながら座席が迫ってきて、死ぬんやて思ったけど、抱えてたサツクスの箱がつぶれてギリギリの所で止まった。朝やつたのにもう暗くて……奇跡的に手元にサツクスはあったけど、人と座席の間で形が変わって抜けんくて。……ああ大事なサツクス、えらいことなってもた。抜こうとしたけど、無理に引っ張ると痛そうな声がして、誰かともつれてもうたんやと思た。

キョウコ 電車が止まって静かになると。どつと悲鳴とうめき声があがった。外に出ようと非常ドアの開閉ボタンを押したけど、反応なくて、パンタグラフがはずれたからって誰か言うたけど、それ非常ドアの意味あんのかと思た。駆けつけた工場のおじさんが機械で扉を切ってくれて、外に出ると、どういう訳で投げ出されたんか、人が線路に倒れてて。ウチの乗ってた四両目は先頭になってた。

サツキ サツクスもウチもぎゅってされて涙が出てきた。悲しいわけやなくて、息が出来なくて涙が出てきた。……なんでかサツクスも泣くんやと思た。サツクスが引っ張るウチを拒んで腕からすり抜けると、少し隙間が空いた。その隙間でウチとウチに重なった人の呼吸が楽になったんがわかった。……だんだん

落ち着いたんかダメになったんか、人の声が減ってくと、誰かの携帯の着信音が鳴った。

マヤ（「ムーン・リバー」をハミングする）

サツキ 次々と、誰かの携帯が鳴った。ウチのも鳴った。ウチはマヤに習ってるムーン・リバーにしてたんで、ムーン・リバーが流れた。マヤが吹いてくれたみたいになんか繰り返して何度か鳴ってくれた。気持ちが悪く落ちていく。なんでか震災の時、天井が目の前まで落ちて来た時のこととめっさかぶつとるなあて、ぼんやり思い出しながらムーンリバーを聴いてた。ウチは生きてるんやと思った。神様は携帯電話に住んでいる。……けどマヤは？ どうなってんやろって考えてたら、ごっつ眠たなってきて……。

キョウコ 一人のこと心配しながら、ウチは運転手が見つかるのを待ってた。這ってでも出てこいと思った。どんな顔してるんや、死んでも詫びろと思った。酷いことされると、酷いことしか思えんで悲しなってきた……。

シヨウコ ずっとサツキらのこと心配してた。けど、流石に救急の人にながされて病院に行くことにした。

キョウコ サツキが救出された側でマヤは見つかった。胸部圧迫やって目に涙が溜まっていた。

カナ キョウコ。しばらく入院してたのに。

キョウコ 数日後、運転手は死んで出てきた。亡くなったて聞いて、やっぱ気の毒やなあて泣いた。想像していた人は想像でしかなくなつて、運転している後ろ姿でしか思い描けへんようになった。ウチは、その運転手は殺されたんやないかて思うようになった。これはウチだけの推理。手口は先頭車両が突っ込んだマンションの駐車場で誰にも気づかれなほど首尾よく慣れた手つきで……。発見されたとき、レバーを握ってた言うけど、それもわからん。利益だけを追求する嘘だらけの企業。何をするかわかったもんやない。亡くなった運転手も、殺した人たちもきつと、冷たい大人の後ろ姿をしてるんやと思った。

シヨウコ ……あの子。ホンマは鉄橋の上でリハビリなんかしてへんで。

キョウコ 皆、嫌な予感してた。それが一致した時事故は起こった。みんな何か気付いてた。

アミ ……ほな。自転車探しましよか。

サツキ うん。

カナ ……。

アミ くないしたんですか。

カナ ウチ、あの子がわからんようになる。

アミ キョウコさんが？

カナ 自転車探すとき、あの子一人でぼろってなる。まるで抜け殻や。向き合うには、あの子と一緒にあの場所、あの時間まで戻らなアカン気になつてくる。

アミ それ、しんどいでしょ。

カナ けどウチも経験したことや。ウチも関係してる。あれはウチの事故で、なんでか起こしたんがウチみたいな。

アミ そんなアホな。

カナ ……彼氏が別れ際にウチを見た目は事故した電車を見るそれ。ウチが電車に乗る。バスに乗る。するとウチにどこまでも似た電車はたちどころに脱線して……。

サツキ エエんですよ。カナさん。

カナ ……ウチは忘れていくんが、一番の救いて思うんや。

サツキ 忘れるて？

カナ 自転車探すんは、気晴らしになるな。止まってしまうと沈むやろ。あの静けさに引き戻されてまう。後ろののドアを車掌が開けるまでの沈黙に……。けど動いてるうちに、知らんうちに何もかもきつと動き出して。(辛くなり、しゃがみこむ)

サツキ 動き出しますか。

カナ ……そのうち、振り返ると、誰もいなくなってる気がする……。

カナが振り返るとサツキとアミはいない。
ずっとその場にいたシヨウコが。

シーン 11 銀河ステーション

シヨウコ 一人でチャリ探してんの？

カナ ……え。

シヨウコ なんや、言うてよ。

カナ エエンや。ウチはもう。

シヨウコ もう遅ない？ バイトいかんの？

カナ ……ダイヤモンドシテイ。めっさすいてて笑けた。

シヨウコ けど明日から騒がしなるで。

カナ ……そっか。もう走りよるしな。

シヨウコ な、レール磨いてある。見てた？ なんか研ぎ職人み

たいな機械がキーンて。……もう暗いんでワカランか。錆びと
ったレールもうツルツルや。

カナ ……ずっとここにおったんや。

シヨウコ うん。ここだな……。

マヤ (空を見上げ) 星？

シヨウコ 呪ってた。

マヤ さて。……あの川だと言われたり、ミルクの流れたあとだ
と言われている、ぼやっとしたモノはなんでしよう……。

シヨウコ ここからは見えへんな。天の川。

カナ あっちのどぶ川やったら見下ろせるけど。

シヨウコ まだ探すんやったら付き合うで。

カナ もう行くし……。あ、これな。(カギを取り出し) 見覚え
ない？

シヨウコ なんや。ウチがあげたキーホルダー。

カナ マヤが持っててん。

シヨウコ (受け取り) マヤがこれを？

カナ ……って。アミがな。

シヨウコ けどな。……これ、サツキにも同じもんやってんで。

カナ え。……そうなんや。

シヨウコ 見分けつかんけど。(鈴の音を聞く)

カナ ……な。ずっと気になってたんやけど、(自転車を探り)
この札ってアレかな。

シヨウコ なによ札って。

カナ 迷惑自転車の札。……結構多ない？ 日付、四月の二十五

日、四月の二十六……。

シヨウコ これも四月や。よう撤去もされんと。

カナ どうなるんやろ。明日から増えるやん。

シヨウコ 邪魔やし持ってかれそう。

カナ ……。(黙々と自転車を探し始めた)

シヨウコ ……な。もしこれからもずっと、マヤのチャリ、見つからんんだらウチら普通に忘れてまうんやろか。…：友だちも自転車も。腹立つんも諦めて、物わかりようなって、ボケ入って、そらそや、しゃあないって受け入れる日が、合点いく日が来てまうんやろか。

カナ (疲れ果て) ウチはシヨウコみたいにとことん人に付き合うことできん…：。けど、それが一番エエことやとも美しいとも思てへん。

シヨウコ そやで、無理に合わせんでもエエよ。

カナ (マヤに) …：ごめんやで。

マヤ エエんですよ。無理してもらわんでも。

シヨウコ …：ほんま、さめざめと同じようなことしか言わんな。…：いや、これは受けとめ手の問題なんか…：。

カナ シヨウコ。…：マヤのことわかるんか。

シヨウコ 見失ったことないわ。…：見失われるのは辛いからな。

カナ どういうこと…：。

シヨウコ な。…：この四月の札ついたチャリ。事故に遭った人待ってるチャリやで。

カナ この子ら、そうなんやなあ。

シヨウコ 自転車は裏切らへんな。…：てか、できんのか。

カナ シヨウコはまだいるの？

シヨウコ 性分やし。

カナ ウチはこの札ついたチャリ。なんかさらしもんみたいで、ほんま嫌になつてくる。(と自転車で去る)

シヨウコ …：。(札を見てちぎる) くそ。

嫌。(ちぎる) 嫌。(ちぎる) 嫌か。

マヤ …：チャリはハチ公に見えますね。

シヨウコ ああハチ公。…：ん。ハチ公て？

マヤ 見た目が犬っぽいし。チャリって形が。

シヨウコ それ無理あるわ。

マヤ けど、言うたのサツキです。

サツキとアミが現れる。

サツキ ウチそんなこと言うてへんわ。

マヤ 嘘。言うたって。

シヨウコ てか、あんたらチャリの鍵は？

アミ え。シヨウコさん。それっぽいチャリ見つけました？

サツキ ……あれ。(ポケットを探る) あ！

アミ どないした。あ、って。

シヨウコ (鈴を鳴らす) ここや。ここ。しっかりしい。

アミ シヨウコさん持つてるってことは……カナさんまた一抜けですか。

シヨウコ いつまで付き合わすん。認めよ。

アミ なんを認めるんですか？

シヨウコ 人それぞれな、ふんぎりついたら、一刻も早くこんなことやめたらエエンやで。

アミ なん言うんですか。

シヨウコ サツキは何？ 自転車見つけたら、一緒に帰ってくれる。

てホンマに思てんの？

アミ ずばっと。いきなり内角をえぐるってきはりますね。

サツキ 約束してるんです。

マヤ ……それは。サツキが勝手に。

シヨウコ どういうことか理解してる？

アミ ……シヨウコさん、マヤのこと認めてくれてるんやけどなあ。

サツキ 部に戻ります。……エエですよ、サックスたまに吹いても。

シヨウコ あんたホンマに知らんのやな……。

キヨウコ、現れる。

キヨウコ 何時や思てんの。帰りや。

アミ けど。……もう阪急、動いてへんし。

シヨウコ タクるほど余裕もないしなあ。
キヨウコ シヨウコ。あんたいて何しとん。

シヨウコ ……ウチがいるからオールしても平気やん。
キヨウコ なんて嘘つくん。

シヨウコ ……ん。嘘て。

キヨウコ 今日帰る言うてへんかった？

シヨウコ 一旦帰って、それから出てきたってことやん。

サツキ ずっと見張ってはるんですか。ウチらのこと。

キヨウコ アンタがそない言う？

アミ 手遅れになるんです。見つけど…。

キヨウコ ぶらぶらおったら補導されるで。

シヨウコ そらあんたもやる。

アミ ウチ。こないだパクられましたもん。…でも平気やったし。

シヨウコ ……え。どないしたん。

アミ チャリ乗ってたから、物陰から呼び止められて。自転車は誰名義やて聞かれて、ウチです言うたら、無線でばれて。ソッコ

ー、オカンに連絡されて…。

シヨウコ 怒られた？

アミ したらポリ、出てきたオカンひと目みて。なんや、あんたか

あ。……みたいな。

シヨウコ なんなん。オカン。

アミ 園田のオッサンやった…。

キヨウコ なんのことよ。

アミ そやから家出もしたい今日この頃です。

シヨウコ グレるんかお前。

キヨウコ 今、関係ない。

アミ ないことない。

シヨウコ てか自分こそ、ホンマ危ないて。

キヨウコ ウチは大丈夫や。あの鉄橋の柵は高いし、落ちること
ない。

シヨウコ 怪我。とつくに治ってるはずやん。

キヨウコ これは、あんたらには理解できん。

シヨウコ　また強がる。
キヨウコ　：：サツキ、帰るで。忘れたん。ここ来るときはメルする約束やんか。

サツキ　何があっても、自分の責任ですから。

キヨウコ　怒るで。

シヨウコ　けどキヨウコ。今夜は見逃したろ。この子らにたっぷり探させてあげよ。

アミ　話せばわかります。

キヨウコ　：：ほな、ちゃんと説明してよ。

アミ　（シヨウコに）　：：：な。

シヨウコ　ん？

アミ　（キヨウコに）　：：：な。

キヨウコ・シヨウコ　わからんて。

アミ　ウチら、ずっと、マヤと会ってたんですけどね。

キヨウコ　：：ふざけてんの？

シヨウコ　ま、落ち着いて。聞いて。

キヨウコ　正気か。

アミ　もちんですよ。（マヤに）なあ。

マヤ　：：：。

キヨウコ　：：：どういふことなん。

アミ　びっくりでしょ。こういうことってあるんですよ。

キヨウコ　：：どこにいるっていうの。

シヨウコ　キヨウコ。

アミ　またまたそんなこと言うて。

キヨウコ　エエ加減にしい。：：：帰るでサツキ。

アミ　居てるやないですか。マヤ。

サツキ　自転車探して、帰って来てもらおうんですよ。電車が

走り出す前に。

キヨウコ　訳が解らん。

サツキ　訳解らんとて：：：。

キヨウコ　解らんから言うてる。

サツキ　マヤ、どうなってんの。

キヨウコ　やめてよ。

サツキ　なあ。

キヨウコ　やめてって。

サツキ 何で怒るんです、ウチらが話しすると。
キヨウコ 話してると？

サツキ ウチらが話していると機嫌悪いやないですか。
キヨウコ 怒ってないで。

サツキ ずっと怒ってはったやないですか。
シヨウコ ……ま。落ち着き。

キヨウコ ウチは、あんたらの為やったらなんでもしようって思
ってたんよ。

サツキ マヤに冷たいやないですか。
キヨウコ 信じてて。

サツキ 嘘や、今もシカトしてるやないですか。
キヨウコ は？

マヤ サツキ。
サツキ 思ってくれてるんやったら、ちゃんと目、合わせて下さい
よ。

キヨウコ ……：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：：？

アミ そうやキヨウコさん。冷たいわ。
キヨウコ 何？みんなしてからかっているの？

シヨウコ そんなことないけどな…：：：。
キヨウコ シヨウコ、あんた充分わかっているはずやないの？

シヨウコ 何が。
キヨウコ 決まってるやん。

シヨウコ わかっている。…：：：：：：：：：：：：：：：？
アミ ウチは信じたない。サツキも知りよりませんし。

サツキ ウチが何って？
アミ 関係ない、関係ない。

キヨウコ そやからって…：：：。
アミ (手で耳を塞ぎ) あゝ！

キヨウコ ええ加減受け入れようって。
アミ (手で耳を塞ぎ) あゝゝゝ！

キヨウコ あんたらがここまで酷い思わんかったわ。
アミ メールが返ってきました。

キヨウコ メールやんか。
アミ 送ったら必ず返ってきました。

キヨウコ 当てにならないで。

アミ 愛に溢れてました。メールは生きてます。

キヨウコ 誰からのかも解らんのに？

アミ マヤのメルアドですもん。

キヨウコ 自転車は？…何の為に探してるん。

アミ 言われんでもわかってますよ。

キヨウコ わかってへんやん。マヤがおらんようになった事、受け入れる為に始めたんやろ。皆、そのつもりで手伝ってくれ

事になった
んちやうの？

シーン 12 午後の病院の駐輪場で

一同、そのまま。カナが一人でぽつりと救急サイレンの音がずっと鳴り止まない。

カナ 結局、ずっと待ってたけどウチだけやった。みんな遅かったし。……けど、どうやって声かけてエエんかワカラなかったし。

キヨウコ 気づいてくれなかった？

カナ じつと一点見つめて。……止まってた。

シヨウコ キヨウコ、気にせんで会いに行行って来たなら？ 会うたらサツキ、変わるかも。

キヨウコ うん。そやな……。

カナ (サイレンを気にして) ……てか、この音。もうたまらんな。

シヨウコ 結局、何針縫ったん？

キヨウコ 八針。

シヨウコ 痕、残らへん？

キヨウコ 元々このへん、傷あつてん。けど、これは傷つけられた傷や。

カナ ……あ。又、入って来た。……ニュース見る度、増えるなあ。

キヨウコ 病室で退屈したけど、テレビつけてへん。空からの映像、眺めてるとなんか人ごとみたいになる。ウチら、そこにおつたのに。

アミ ……ウチ。散々、探したんやけど。

キヨウコ ……ごめんな、来てくれて。

アミ マヤ。どこの病室にも入ってなくて。

カナ ……マヤって？

アミ さつき、マヤのお母さんかな。おって声かけよう思たけど、見失つてもて。

シヨウコ お母さん。

アミ 青ざめた顔してはって、ウチ、そうやて思って追っかけたけど、走ると怒られて。

シヨウコ あんた、間違ってるで。……マヤのお母さん。もうい

てはらへんからな。

カナ そや。それ人違いやで。

アミ そっか。あ。わからん。……したら、ほんま、どこおるん。

カナ 体育館に運ばれたんやて。尼崎の。

アミ ……そこ病院やないですな。

シヨウコ ……きつと、別の所やで。……もつとちやんとして特別な。

アミ 特別て？

キョウコ マヤのお父さんと会ったよ。面会 来てくれた。

アミ マヤのオトン。……なんて。

キョウコ ……まだ帰って来てへんて。

アミ なんて。

キョウコ ……あの子の自転車がないうやつて。……やから自転車に乗って、あの子が帰って来るの、待ってるて。……ウチ、じき学校行くから一緒に自転車探そう。そしたらあの現場行って、自転車乗って……。

アミ 会えますかね。見つけたら。

キョウコ 解るようになるよ見つけたら。そ

してお家に寄ってみよ。したら、みんな、気付くんや。いくらのんきなあんたらも。

……そやから、もう寝ぼけたこと言うてんと。

サツキ マヤはここに居るんです。……鉄橋の上からずっと何見とったん！

シーン 13 深夜の鉄橋の上

キヨウコ ……何。ほな、おかしいのはウチになるんか？

アミ キヨウコさん。目、見開いてくださいよ。

キヨウコ 都合のエエ。 ……目を背けてるのはあんたらやって。 ……なんで辛い方にモノ見る、なんで辛い方に考える。

アミ 一切考えなんかない。 ……マヤがいる。それだけでエエや ないですか。

キヨウコ ……あんたらには元気そうに見えるんや。(アミ達の 視線を頼りにマヤを見る)

アミ うん。

キヨウコ あんたら見たんか。マヤの服。

アミ 服。

キヨウコ ボロボロやったって。

マヤ ウチ。ボロボロですか。

アミ そんなことない。

キヨウコ 顔は。 ……汚れてたって。

アミ 汚れてません。

キヨウコ 埃まみれちゃうの。拭いてあげな。

アミ エエ感じです。

キヨウコ 体もきれいに？

アミ はい。がんばってるほうです。

キヨウコ 血もなくて。 ……そや、なかった。

アミ もちろん。

キヨウコ 元気そうにしてるっていうんか。

マヤ はい。

アミ 立派なもんです。

キヨウコ 痛くないって？

マヤ 痛くないです。

アミ ないで。

キヨウコ ……何処も？ なんで？

マヤ ……。

キヨウコ なんで泣いてない。

マヤ 泣いてません。

キヨウコ 押しつぶされて。

アミ はい。

キヨウコ 息ができません。

アミ 泣いてません。

キヨウコ 悔しくて、泣いてないっていうの？

アミ はい。

キヨウコ ウチには見える。泣いてるあの子が立ってる。ウチから目をそむける。二度と目が合うことはない。

シヨウコ ……どこ見てるん。

アミ バリ元気ですよ。

マヤ キヨウコさん。

キヨウコ ……悔しくて、マヤ。ウチ、毎日、息も出来んのよ。

マヤ 大丈夫ですか。

アミ しっかりさせて。

キヨウコ みんなもそうやないんか？まともやない。愚かしいわ。惨めにならないの。

アミ ホンマ、わからんのですね。

キヨウコ メールごっこも終わりにしよう。

シヨウコ ごっこで。

キヨウコ なんでみんなマヤにメール送ったりするん。やめようや。そやからこんなことなるねんて。

アミ キヨウコさんは返信ないからどうでもエエんでしょ。

キヨウコ そや、帰って来んよ……。

アミ やから解らへんのや……。

キヨウコ 来るはずがないやん。

アミ ウチには返信きます……。

キヨウコ どんなこと打ってるの。

アミ プライベート……。

キヨウコ 自分が可哀想やからメールしてるんやで。付き合う方のこと考えてる？

アミ 関係ないです。

キヨウコ 誰が返してると思ってるん。

アミ わかっています。

キヨウコ あんたのメール。全部、ウチが返してるんやで。

アミ ……そんなはずない。

キヨウコ マヤやない。……お父さんでもないんや。ウチが、ず

つとあんたに返事かえしてたんやって。

アミ ……嘘や。

キョウコ みんなお葬式来れんかったやん。ウチ、全部話してん。お父さんに。喧嘩してたんやって。ウチが追いかけたから前の車両に移ってもうたつて。…許してくれたよ。ウチに出来ることないかて聞いてみた。したら、マヤの携帯生きてて、携帯の使い方わからん人やなかったけど、一人で皆から来るメールに困ってはった。沢山メールが入ってた。

アミ ウチ、メール終わらせへんもん。

キョウコ もういいよつて、お父さん言うてくれはった。けど着信音がウチを責める声に聞こえて。皆にきちんと事実伝えますつ言うて。

アミ みんな騙したん？

キョウコ 騙したかったわけやない。

アミ あんたはメル友やない。

ショウコ こらしやあないで。

アミ もて遊んでたんや。

キョウコ 考え続けたよ。ウチらがこの問題をどう受け入れていったらエエんかって。あんたらちつとも考えへんやん。

ショウコ オトンやなかったただけでマシやん。

アミ マシとかやないわ。

ショウコ (キョウコに) 考えてないて責められへんで。あんたが考え奪ってたんやし。

アミ マヤにメール打つ。(とメールを打つ)

ショウコ あんたもくだいなあ…。

キョウコ もう辞めよ。電車走り出すのにウチらだけ目え背けて。

アミ そんな都合、誰が決めた。誰が許した。

ショウコ それが世間ていうもんでな…。

アミ ウチはなんも信じへん、マヤにメール打つ。(メールを送信する)

ショウコ キョウコに嘘メール返し続けろいうんか？

アミ ウチはメールを送る。それだけで繋がる気がする。いつか返ってくればええ。…迷惑ついていわれる。けっこう拒否られたりもする。…けどマヤはここにいて。ウチも生きてるんや。

(マヤに) な…。

キョウコ エエ加減にしよう。

アミ ……あれ。…マヤは？

マヤ（「ムーン・リバー」をハミングする）

アミ ……な。シヨウコさん。

シヨウコ どうしたん。

アミ マヤ。…どこいった？ ……ん。今、鳴ってるこれ。…

…何の音？

キョウコ ここや。（キョウコが携帯電話を取り出す）あんたのメールきた。

アミ ウチのメールで。

キョウコ うん。マヤが受け取った。

シヨウコ それ。マヤの携帯なん？

キョウコ あんたらの思ってるマヤ。これなんや。

アミ ……こんなちやう。

キョウコ 見覚えはないか？

アミ ウ…：ウチはマジやのに。めっさマジやのに…：。なんや

あんた。携帯鳴らしとんなよ。せめてマナーやろ！ それ切り
いさ！

シヨウコ 送ったん自分やんか。

キョウコ わかった。もう返さんから。

アミ ……何でえ！

シヨウコ 意味ないやろ。

アミ それおかしいわ。…マヤの返事くれや。

シヨウコ あんたなあ。

アミ ちょ頼むわ、キョウコさん。マヤのメール返してください

よ…。

シヨウコ（落ち着かせようと）あんたアホになってるで、もの凄
くアホになってるんやで。

アミ マヤを返してよ。キョウコさん。

シヨウコ 悪気はなかったんやて…。

アミ 何でや。この人が一番アカのやろが。

シヨウコ あんたなあ…。

アミ 最初からあんたがおらんかったらよかったんや！（と、

キョウコにつかみかかる）

アミ このドアホ！ アホめ！ アホめ！

シヨウコ ちよつと。よそうや。ちよつとつて。
サツキ ……なあ、どないなつとんの。マヤ。

アミ (しゃがみ込み) ひー。ひーい。

マヤ うん、ごめん。そろそろかなあ。

アミ ひーい…。

シヨウコ ……。 (猛烈に自転車を探し始める)

キヨウコ どないしたん。

シヨウコ ハチ公、探したろ。

キヨウコ ハチ公で、もう探しても意味ないで。

シヨウコ アミ、ふぬけてへんと四月の札つけたハチ公、マヤ待

ってるんや。…サツキ。まだ全部あたってないんやろ。

サツキ でも違う思います。その札ついてるの。

アミ 四月のハチ公ですね。四月のハチ公。

シヨウコ (キヨウコに) ホンマはあんた知ってるんちやうの。も

う何処にあるんか。

キヨウコ ハチ公出てきたらどうすんの。

サツキ ……帰ります。一緒に。

キヨウコ ハチ公はどんな人待ってるの。

サツキ 帰るんです。

キヨウコ 亡くなつたご主人待ってるんやで。

サツキ ……わん！

キヨウコ 帰ってこんのが解るんやで。

サツキ (耳を塞ぎ) わん！

キヨウコ 口聞けちゃんと！

サツキ わんわん！ (自転車を探し続ける)

アミ (反応する) わん！…わんわん！

バイト帰りのカナが現れる。ベルを鳴らし。

カナ ……なん。これ。みんな大丈夫か。

キヨウコ カナ。なんであんたも来たん。

カナ なんて。…差し入れもってきた。

冷えたけどポテトやで。

シヨウコ なんや結局イモかいな。

アミ (反応する) イモ…。イモ、イモイモ。

シヨウコ イモでエエんかい。

アミ ね。カナ先輩、始発で何時かな。

カナ 始発？ ……5時過ぎたらあるんちゃう。

アミ サツキ。電車でマヤは行ってまうんか。

サツキ 言うてる。 ……神戸に行くて。お母さんに、会いに行く
って。

シヨウコ ……それ、いつのどの神戸なん。

サツキ ウチも一緒に行きます。

キヨウコ 乗るの怖ないんか。

サツキ 平気です。マヤと一緒にやったら。

カナ キヨウコ。どないなっとな。

キヨウコ なんのこと。

カナ サツキ、ずっと病院いてるて聞いたよ。

アミ しっかりしてますよ。

カナ 抜け出してきてたん？

キヨウコ ……。

カナ な。無茶させんと。

サツキ 連れてってよ。ウチを。

キヨウコ ……もう。やめよ。サツキ。

マヤ 切符。 ……持ってるんか。

サツキ 切符って。

マヤ サツキ、持ってへんちゃうん。

サツキ 買うたらエエ話やん。

マヤ 売ってへん。

サツキ なんで。

マヤ 買うてもそれは六月の切符や、ウチと

一緒に駆けへんよ。(切符を見せる)

サツキ え？ 全然普通や。普通の切符。

マヤ ちやうよ、乗ってた電車の切符やん。

サツキ 四月の二五日で。 ……こんなん、大事にもってたん？

マヤ まだいるんや。

サツキ ウチの乗ってた切符は ……。や、渡してもうた。 ……一
緒に買った神戸の切符。

マヤ エエねん、それで。

サツキ それ事故った電車の切符やろ。

マヤ うん。なるな。

サツキ そんな切符でどこいくん。

マヤ 言うてるやん、ずっと……。お母さんに会いに行くって。
サツキ ……マヤ。あんた、生きてんねやろ。

アミ（一台の自転車を示し）な、これちゃうんか？ ……マヤ
のハチ公、ボロボロの。

シヨウコ それな、ウチも怪しい思たけど。

カナ ……やったつけ、ベルの蓋取れてる。

アミ（鍵を指し）開かな。普通の鍵やけど。

シヨウコ ……な、キヨウコ。もう一つの鍵。

キヨウコ もう一つて？

シヨウコ ウチちらが使ってた方。

キヨウコ うん。（シヨウコにカギを投げる）

シヨウコ どやるか。（鍵を差すとポンと開く）

サツキ ……。（びくつと嫌な予感がする）

アミ よっしや、出てきたでハチ公。……なあ、サツキ。……マ
ヤ呼んでよ。

シヨウコ ……な。サツキ。

アミ マヤ連れて帰ろ。

サツキ ちゃうよ、それとは。

キヨウコ ……サツキ、見てたんやろ。

サツキ 何のこと。

キヨウコ 憶えてるんやろ。何があつたんか。

サツキ 壊れたのはサックスです。

キヨウコ ホンマに？

サツキ つぶれてもうたんはサックスです。

サックスが泣いてただけです。

キヨウコ 泣くんか、サックスが。

シヨウコ やめたげてよ。

キヨウコ そばにいたんやろ。

サツキ ……ウチの腕からすり抜けたんも、ムーン・リバー歌つ
たんもサックスやった。壊れてもうたんです。ウチの大事なサ
ックス。

キヨウコ サックスは新しなった。……けどマヤは？

シヨウコ キヨウコ。

キヨウコ　なあって。

サツキ　……キヨウコさん。持ってはりますか？事故った電車の切符。

キヨウコ　持ってるよ。……ずっと乗ってるからウチは。今も繰り返して忘れん為に。

サツキ　くれませんか？　ウチにその切符。

キヨウコ　使えへんで。こんなん。

アミ　サツキ。

サツキ　ウチに下さい。

アミ　マヤ呼んでよ。自転車あつたで。

サツキ　マヤがおらへん。

アミ　え。……おらんで。

サツキ　行ってもうたんです。……ウチ、ずっと探しとったのに、マヤを迎えにいかないかなあかんで、一緒に帰ろと思て。……あの電車が走り出して、マヤが押し潰されてまう前に。

キヨウコ　やっとなつたやろ。

サツキ　あん時、一緒に行かなアカンかった。

キヨウコ　ウチらは生きていくんや。

サツキ　下さい、切符を。

キヨウコ　サツキ。

サツキ　キヨウコさん。ウチらのためやったらなんでもしてくれ
るんちゃうんですか。

シヨウコ　渡したらアカン、キヨウコ。

サツキ　……。 (キヨウコから切符を奪う)

キヨウコ　サツキ！

キヨウコ、サツキを追いかける。逃げるサツキ。一〇七台の自転車が倒れていく。

サツキ　ウチは乗るんです。

キヨウコ　電車に乗れんで、パニックるだけや！

サツキ　平気や！

キヨウコ　駅員苦手やろ。

サツキ　改札無視する。

シヨウコ　ホーム、降りれるんか。

サツキ 関係ない。
アミ どんない電車や。
サツキ 電車の幽霊。
キヨウコ どんない乗るんや。
サツキ 飛び乗るんや。
シヨウコ アカンて。
サツキ 鉄橋から飛び乗るんや……。
シヨウコ 待って！
カナ 電車が……。
キヨウコ サツキ！

サツキが鉄橋から消えると電車の幽霊が通過する。キヨウコはシヨウコに止められる。

シヨウコ アンタは乗ったらあかんて。
キヨウコ 放してえや。
シヨウコ この電車はどっこも行かんからな。
キヨウコ 憤りの行き着く果てはないんか。
シヨウコ あんたが叫ぼうが、身を投げようが、新しい時間が動くんや。……全てを飲み込むために、嘘だらけの電車が走り出す。

電車の幽霊が通過する。遠くで警笛が鳴った。

シーン14 冷たい背中

アミ……マヤは。サツキも電車に乗ったん？

シヨウコ 行ってもうた……。

カナ ちやうやろ。……駅向ったんか？

シヨウコ もう始発の時間？

カナ ウチ、駅いって見てくる。

キヨウコ 行かんでエエよ。

カナ なんでえ。おらんくなったやん。……

おるはずなかったけど……。

キヨウコ いたんや。ここに。(マヤの自転車を起こし)……な

あ、サツキ。マヤ。……あんたらの自転車が出てきたよ。(蓋の取れたベルをジューコと鳴らす)二ケツして帰りに。

マヤ！ ウチのことまだおっかないで嫌

ってる？ サツキ！(ジューコと鳴らす)

カナ ……いてへんのやろ。

キヨウコ ウチには見えるねん。(鳴らす)好きな場所で吹けばエ

エンや。ホンマごめんな。

マヤとサツキ、浮かびあがる。

マヤ 学校の帰り、よくグラウンドの向こう

の駐屯地で練習するサツキスの音が聞こえてきましたよね。ただっ広い敷地に並んだイカツイ車に反響して。ちよっとおかしな景色やったけど、ウチにはそれが遠い世界の知らない誰かのために吹いてるように聞こえたんです。ウチにはその響きが愛おしく聞こえて。どうしても、ウチもその響きをホンマに表したいと思うようになったんです。

キヨウコ あんたが送るつもりやったメール。幾つか残ってた。

中途半端なウチ宛のメール。

マヤ ウチ、学校やなくて、好きなところに行って吹くことにします。誰かの為やと思える場所で。神戸やったらお母さんのために。

キヨウコ この先は、ウチがあんたのフリして、ウチに送らなアカンのか。ホンマ、何て書いたらええの。

マヤ スンマセン。誤解されること言うたから。
キョウコ ちゃんと伝えてよ。

マヤ 悪いのは誰ですか。

キョウコ ……なんでもウチのせいか。

サツキ 一人で、鉄橋の上から飛び降りるや
なんて、思うから。

キョウコ あんたに言われたないわ。

マヤ 落ちたら夢から覚めますか。

キョウコ ウチは走り出す電車を止めること
も。……この柵を飛び越えることもできへん。

マヤ 傷。はよ治して下さい。何になるん。

キョウコ 誰がみんなを殺したか探してるよ。

犯人はいるんやろか。でもいてへん。あれは事故で事件やない
んや……。

サツキ ほな原因？

キョウコ ウチは鉄橋の上で、冷たい背中をした大人が行き交う
道の上で、何も見つけられなんだ。……テレビ見れるようにな
ったよ。……毎日、頭を下げる。……仕事なんか、なんなん
か、仕草や言葉から溢れる中には、なんもなくて。記者がヤカ
ラのように怒鳴けど、それもウチはのつかれへん。それ代弁や
なくて、関係ない叫びやて醒めていく。娘をなくした母親が叫
ぶ。その母親にさえ、文句を垂れ流す原因がわからんどっかに
あつて、母親を虚ろにしてしまう。……運がなかったんやて。
……これは一体、どんな出来事なん。解決もされんのに、一斉
に忘れ去られる時期が来るて思て、ぞつとする。ウチらが、昔
の傾いた家のこと、越して来たら、誰も知らんわてなるみたい
に。……点滴の痛み、指の傷。その痛みがだんだんわからんよ
うになってきたわ。それはサツキと一緒にやな。けど傷だけがウ
チをほったらかして治ってく。

サツキ キョウコさんも痛みないんか。

キョウコ 傷を残したろうと思った。このまま忘れてまう体が許
せへん。……それは、あんたらが消えてしまいうくらい恐ろしい
ことで。……してるウチに、加減きかんで指の調子悪なった。
……そや。演奏やめるねん。……これは続けるマヤとは反対や
な。

マヤ 見つかりませんか。鉄橋の上の景色から。
キヨウコ けどウチは戦うよ。この先もずっと。
アミ ……キヨウコさん、もう人集まってる来る。

キヨウコ こんな気分で運転再開を迎える人がいるて、誰が知る
やるか。

シヨウコ 知ったこっちゃないやろな。

キヨウコ ……けど、ウチらは伝説になる。

アミ なん。伝説で。

キヨウコ 時間止めよう。人は動き出したけど。

シヨウコ けど突っ立ってなんになる。

カナ 打つ手はあんの？

アミ ほな。ハチ公を並べましょ。

キヨウコ 並べるて。

アミ 知らせましょ。どんだけ持ち主待ってるチャリあるんか…
…。

シヨウコ おー。お前にしては言うなあ。

カナ けど。普通の自転車整理ちやう。

アミ ……アカンかな。

シヨウコ ま。表向きはそう装うて。

キヨウコ 無言の抵抗。わかる人にはわかる。

カナ わからん人には…。

シヨウコ しゃあない。時間は生きてる人のもんやから。

倒れた自転車でバリケードを組み始める。

アミ ……カナさん。無理強いせんで。

カナ ウチ、駅みてこよかな。

シヨウコ 戻りたかったら振り向けばええし。

キヨウコ ウチは逃げへん。

シヨウコ 心意気買う。けどやせ細りは束縛

を生むで…。

アミ ね。見て。ヘリコプター。

カナ ……大げさ。きつと電車先導してる。

シヨウコ マスコミですわ。

キヨウコ 走り出す電車にはウチが見逃した

犯人たちが乗り込んで、まぎれてわからんよ
うになつてまう。どこまでも乗り継いで、見分けもつかんくな
つてまう。

アミ それは阻止せんと。

カナ その人らつて、どんなタイプの人。

キヨウコ タイプで……。

シヨウコ その人たちは。……多分、与えられた職務に忠実で、
同僚と結託し、友だちを大切にする。それぞれに愛する家族が
おつて。

アミ エエ人そうですやん。

キヨウコ そんな人がなにを犯す。

シヨウコ なんとなしに殺戮の場へ人を送り込む。

カナ 極端やな。悪気なしでか。

シヨウコ 悪気のない人殺しほど性質悪いモンはない。厳密に裁
かれなあかん。

アミ それ、どんな罪なん。

シヨウコ チャリをばくつて掴まる程度の。

アミ え。園田のおっさんか？

シヨウコ ま。それとは似て非なるもんで。そいつらは絶対パク
られへん……。

キヨウコ 罪の意識もないからか。

アミ しょぼいなあ。

シヨウコ そやしよぼいんや。……やから重いんや。

アミ どこにひそんでるんやろ。

シヨウコ そら。人が集まって来た。

一同、バリケードに回り込み。

キヨウコ ……誰や。

シヨウコ 知り合いか。

カナ ともだちか。

アミ 家族か。

キヨウコ 政治家か。

カナ 恋人か。

シヨウコ 英雄か。

アミ 生きてんのか。

キヨウコ 冷たい背中をしてるんか。

アミ その背中には振り向かへんの。

キヨウコ 振り向かへん。その人たちには顔がないから。

シヨウコ その人たちにはウチらと同じ位の

子供がおって、親に内緒で夜が明けるまで友だちが無くした自
転車を探しまわってるとか。

キヨウコ 朝焼け小焼けは大漁だ オオバ・イワシの大漁だ 浜
は祭りのようだけど海の底では 何万のイワシの吊いするだろ
う

アミ なんですかそれ。

キヨウコ しらん？ 金子みすゞ。の詩。

シヨウコ 聞きたいな。マヤのサックス。

キヨウコ どんな時に。

カナ 吊いか？

シヨウコ 勝利のファンファーレがエエな。

マヤがサックスを吹く。その音はまるで出棺の際のクラク
シオンにも、近づく電車の警笛にも聞こえる。カナ、自
転車を漕ぎ駅に向う。

カナ ……再び電車が走り出した。八週間ぶりの運転再開。ウチ
は電車に乗って中を探した。もしかして、二人は律儀にマナー
モードにして電車にのってるんやないって。…けど、やっぱ
二人はおらんくて。

アミ 来たで。電車や。

シヨウコ (身構える) ……ゆっくり、ゆっくりと、忍び足でや
ってきた。

カナ 電車は名神の高架をくぐると、減速。ありえへんくらいゆ
っくりになった。

キヨウコ 曲がるで。右や。

カナ そして事故現場。電車がカーブにさしかかると。サツキら
が突っ込んだマンション。

シヨウコ 伏せな…。

カナ けどそこには、大勢の報道陣がいた。カメラを構えた人、

テレビの中継車。中には花束を持つ人、祈る人もいた。ウチはその中をゆつくり通り過ぎた。ウチは撮らたり祈られたりした。

日常が始まる。キョウコたちはバリケードから、顔を出し、行き交う人たちを目で追う。

シヨウコ 朝の通勤ラッシュ。人が溢れかえる。

キョウコ ダイヤモンド・シテイの通路も賑やかになる。

アミ ウチも、冷たい背中を背負うんやろか。

シヨウコ な。見失ったらアカンで。

アミ ……うん。

カナ あの時のように、一斉にみんながやばいと感じるときがきませんように。

キョウコ ……ああ。時間が早くなっていく。

マヤ「ムーン・リバー」を奏でる。
キョウコの包帯がプツリと切れて。

了